

ファーストステップガイド



サンユー販売株式会社

目次

第0章 坪拾いとは	4
おおまかな入力手順の紹介	4
手順1 図面の読込	4
手順2 スケール設定	4
手順3 部材設定・割付部材設定	4
手順4 拾い出しと集計	5
手順5 印刷	5
はじめるまえに セットアップ	6
—坪拾いのインストール—	6
—アップデート設定—	7
—アップデート画面が出てきた場合—	7
—会社情報の登録、得意先の登録—	8
第1章 拾い出しの基本操作(外壁・屋根共通)	10
1節 拾い出す図面を準備する	10
2節 物件設定	10
3節 図面取込	11
3. 1 図面読込(簡単読込)	11
3. 2 図面の回転と角度調整	13
3. 3 スケール設定	14
3. 4 図面切抜きと保存	15
4節 部材設定	16
5節 拾い出し作業(エリア作成)	18
エリア作成画面説明	18
作業ボタンの説明	19
5. 1 外壁施工部分の入力	20
開口部をあける	21
アーチ形状・丸窓の入力	21
隠れた面の入力	22
5. 2 長さを拾い出す	24
5. 3 入力物の削除・編集	25
面積入力中、クリックする点を間違えた場合	25
直前に入力した物を元に戻す場合	25
過去に入力した物を削除する場合	25
複数の入力物を一気に選択する方法	26
6節 拾い出しの確認	27
6. 1 入力したものを目立たせる	27
6. 2 拾い項目を一つずつ確認する	28
6. 2 チェックモードで確認する	28
チェックモード画面構成	28

入力物の確認	29
入力物の設定を変更する	29
7節 積算結果と印刷	30
7.1 積算結果の確認、印刷	30
切物計算画面説明	30
7.2 割付図面の印刷	32
第2章 屋根の拾い出し	34
1節 屋根の拾い出しの注意点	34
2節 屋根伏図を作成する	35
屋根伏せモード画面	36
第3章 そのほか覚えておくと便利な機能	39
『ファイルから』以外の図面読み込み方法	39
『スキャナから』を選択した場合（図面が印刷物の場合）	39
『クリップボードから』を選択した場合	39
手書き図面を下絵にして拾い出す	40
1 グリッド設定	40
2 寸法を指定して開口する	41
—その他のグリッド機能—	42
入力した物件をさがす・整理する	43
1 物件検索	43
2 物件整理	44
—物件の名前を変更する—	44
—物件をコピーする—	44
—物件の削除—	45
—物件を別のパソコンで開く—	45
入力する範囲が足りない時	46
システム設定のオススメ初期設定	47
①小さすぎる(0.5 m ² 以下)の開口警告を表示する	47
②開口をよけて役物を設置する	47
③積算結果表に勾配別の面積を表示する	47
バックアップ機能 どこでもデータ BOX を使用する	48
どこでもデータ BOX とは	48
データ BOX 機能を ON にする	48
データをアップロードする	48
他の PC で作成したデータをダウンロードする方法	49
データ BOX から物件データを削除する	49
データ BOX を使うときの注意事項	49
部材の登録	50
部材登録	50

おおまかな入力手順の紹介

また、既に図面が画像ファイルとして PC に保存されている場合は、その画像を直接、読み込むことができます。

Figure 1-1: A diagram showing a house with a red rectangle overlaid on its footprint. The rectangle is defined by a red line from the top-left corner to the bottom-right corner. The house has a gabled roof and several windows. To the right of the house, there are vertical dimension lines with labels: 7.955 (最高高さ), 1.977, 5.972 (2階軒高), 2.904, 3.075 (1階軒高), 2.755, and 3.35 (基礎天端). Above the house, there are horizontal dimension lines with labels: 6.72, 10, 6.72, and 10. Below the house, there is a label '敷き面積 1/100'.

壁芯から壁芯、外壁から外壁など寸法のわかる部分を四角形で囲み、四角形の縦横のサイズを図面とおりの寸法に設定します。

手順3 部材設定・割付部材設定

外壁部材登録

検索条件
 築業水速・14mm・横張り・打留め

新規 コピー 編集 削除 更新設定

内府		
面積	外壁材(標準)J1灯2号	編集
出隅	面取出隅L45mm釘	編集
土台水切	土台水切300mm	編集
入隅	入隅排水切り角J1灯30mm	編集
軒天取合	ケイウ板取付	編集
観目地	縦目地パイプ-300mm	編集
横目地	中横木切WV	編集
屋根	シロツグ板葺	編集
屋根コナール	屋根コナール	編集
開口破	開口破	編集
開口模	開口棟木材持付	編集
その他シロツグ	シロツグ・バタダノサテ	編集
笠木	笠木300mm	編集
オーバーハング	オーバーハング水切仕様	編集

軒天 更新部材設定

部材タイプ	モジュール	新替部材サイズ	新替目地	目地自動配置	取付け仕様
(W高)	VH(幅)	H(高)	選1	選2	
グループA	300 mm × 455 mm	370 mm × 455 mm		<input checked="" type="checkbox"/> 縦目地 <input type="checkbox"/> 横目地	455 mm
グループB	300 mm × 455 mm	370 mm × 455 mm		<input type="checkbox"/> 縦目地 <input type="checkbox"/> 横目地	455 mm
グループC	300 mm × 455 mm	370 mm × 455 mm		<input type="checkbox"/> 縦目地 <input type="checkbox"/> 横目地	455 mm
グループD	300 mm × 455 mm	370 mm × 455 mm		<input type="checkbox"/> 縦目地 <input type="checkbox"/> 横目地	455 mm
グループE	300 mm × 455 mm	370 mm × 455 mm		<input type="checkbox"/> 縦目地 <input type="checkbox"/> 横目地	455 mm

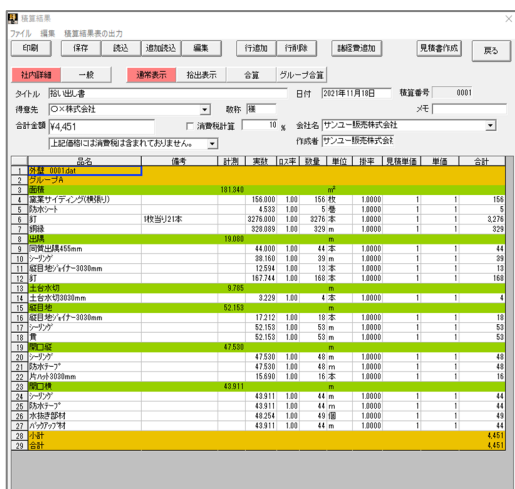
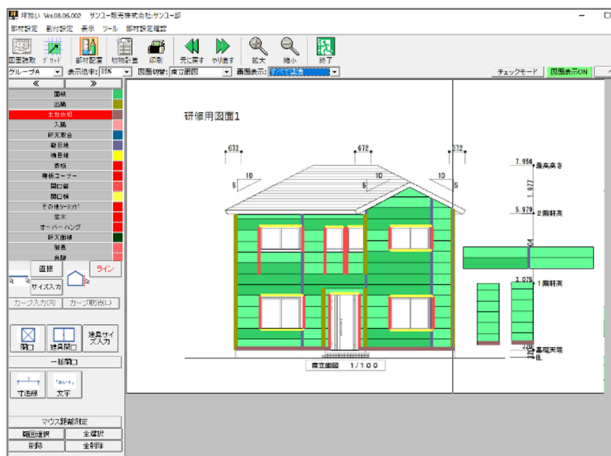
「横」を「縦」に換えて新替目地指定可能

<< 前ページ | 次のページ >>

新替部材再決定
 優先部材変更
 戻る
 決定

4

手順4 拾い出しと集計



拾い出しは、マウスを使用して入力します。

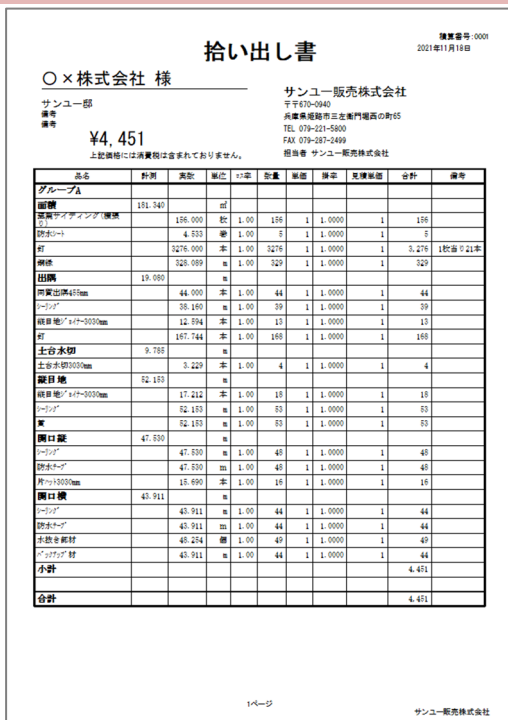
【面積】の拾い出しには、「四角形」「多角形」
入力で拾い出し範囲をマウスクリックでな
ぞり、面積を入力します。
その後、窓等の開口部を抜いていきます。

【長さ】の拾い出しには、その長さで拾う部位をマウスの二点間クリックでなぞること
で拾い出しができます。

【個数】の拾い出しには、その個数で拾う部位をマウスの一点クリックでなぞることで拾い出しができます。

切物計算では、拾い出した面積の枚数計算や部材数量など、拾い出した結果を画面に表示します。簡単なエディタで出力する拾い出し書を編集できます。

手順 5 印刷



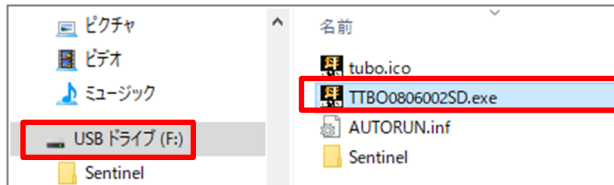
編集を行った最終的な拾い出し書はプリンタで出力することができます。

はじめるまえに セットアップ

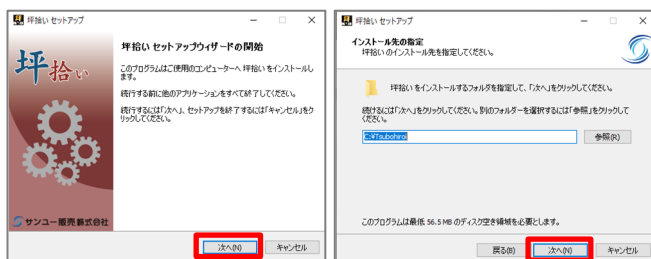
ー坪拾いのインストーラー

USB メモリを挿して、インストールを行ってください。

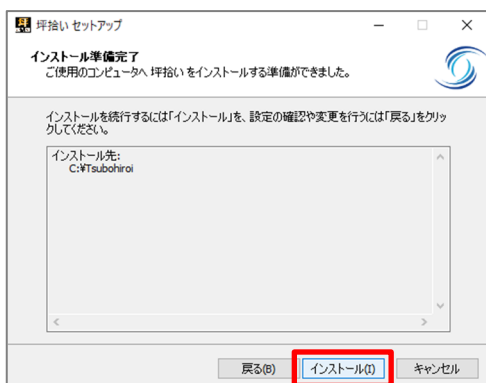
※プロテクトキーは外しておきます。



1) USB ドライブ内の
「TTBO****SD.EXE」をダブル
クリックで起動します。



2) セットアップ画面が出てきたらすべて
【次へ】ボタンで進みます。

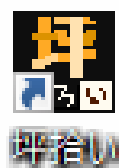


3) 【インストール】ボタンを押すとインスト
ールが始まります。



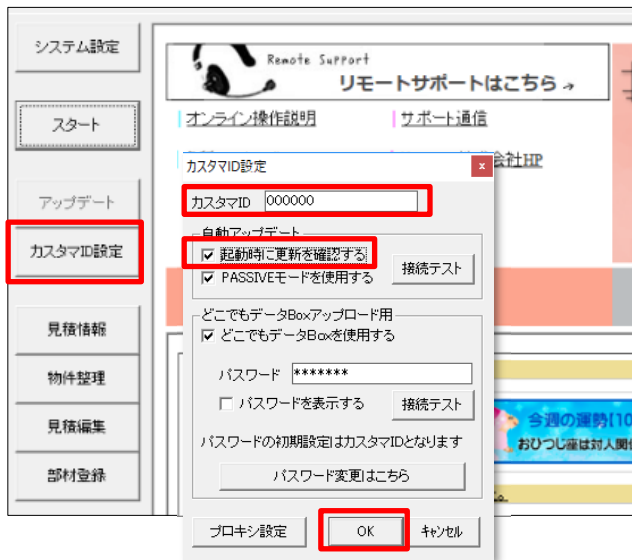
4) 【完了】ボタンが出てきたらインストール
完了です。そのままアプリケーションを起
動する場合は、プロテクタキーを挿してく
ださい。(挿さずに起動すると ID/PW 認証
のログイン画面が立ち上がります)

インストール後は、デスクトップ画面に坪
拾いのアイコンが作成されています。



—アップデート設定—

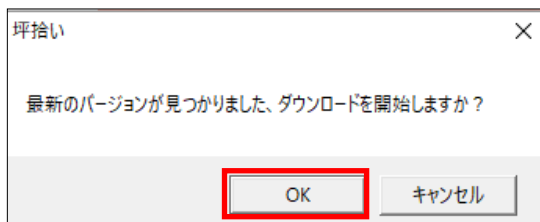
この設定をすることで起動時に最新バージョンの有無を自動的に確認します。
常に最新バージョンをご利用いただけます。



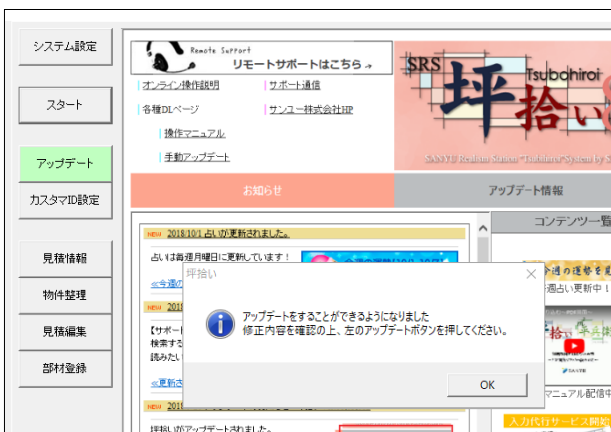
- 1) タイトル画面【カスタマ ID 設定】を押します。
- 2) カスタマ ID 設定画面「カスタマ ID」を入力。
- 3) 「起動時に更新を確認する」にチェック。
- 4) 【OK】を押します。画面が閉じ、自動アップデートの設定は完了です。

ご使用のソフトの状態より、新しいバージョンがリリースされていれば自動でダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了すれば【アップデート】ボタンが押せる状態に変わります。

—アップデート画面が出てきた場合—



- 1) 最新バージョンのダウンロードを開始するため、【OK】を押します。



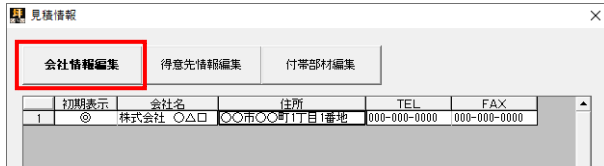
- 2) アップデートします。
①ダウンロードが終わると、「アップデートをすることができるようになりました。修正内容を確認の上、左のアップデートボタンを押してください。」と表示が出るので【OK】を押します。
②左に【アップデート】というボタンが光るので、クリックしてアップデートを開始してください。

—会社情報の登録、得意先の登録—

会社情報（自社情報）と得意先の登録をしましょう。



1) スタート画面【見積情報】を押します。



2) 見積情報画面の【会社情報編集】を押します。

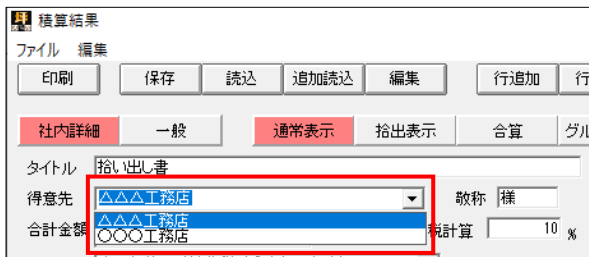
この設定は 拾い出し表の自社情報欄に表記されます。

会社情報の一覧をダブルクリックして、情報を変更することが出来ます。



3) 見積情報画面の【得意先情報編集】を押します。拾い出し表を提出する先を登録しておけます。

同様に一覧をダブルクリックして、情報を変更することが出来ます。



4) 【追加】ボタンを押すと行が増えます。複数の得意先を登録しておき、積算結果画面で切り替えて使用する事が出来ます。

第1章 拾い出しの基本操作（外壁・屋根共通）

坪拾いで拾い出しを行う基本操作をご紹介します。操作は屋根の拾い出しも共通です。画面は外壁モードを例にご紹介しています。

1節 拾い出す図面を準備する

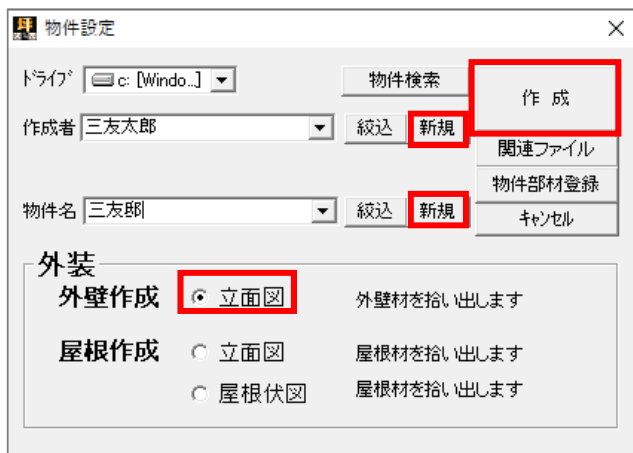
坪拾いでは下絵となる図面を読み込み、それをマウスでなぞって拾い出しを行います。坪拾いを起動する前に、拾いたい図面データをパソコンの中に準備します。図面が印刷された状態でお手元にある場合は複合機等でスキャンいただきます。

2節 物件設定

物件を新しく作成し、図面を取り込む準備をします。



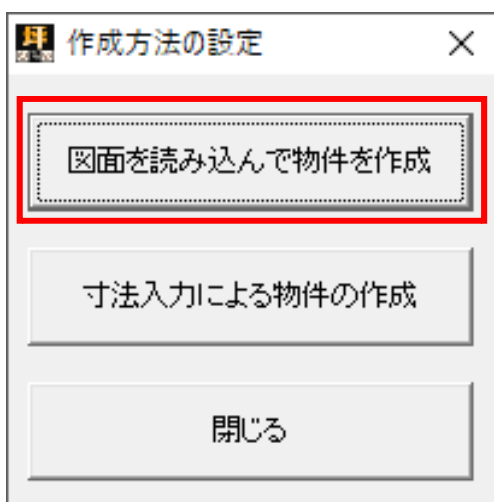
1) 坪拾いを起動し【スタート】を押します。



2) 新しく物件を作成する場合は、「作成者」と「物件名」のそれぞれの【新規】を押します。

※既に設定済の物件を編集する場合は、「作成者」「物件名」を選択します

外壁作成・屋根作成からモードを選び【作成】を押します。

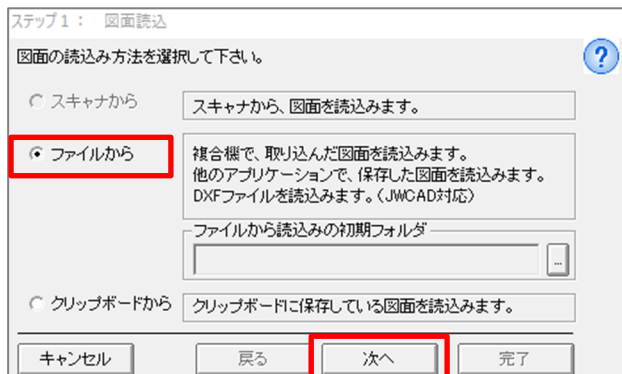


3) 新しく物件を作成した場合は、図面読取モードに入ります。ここでは【図面を読み込んで物件を作成】で図面を読み込みます。

3 節 図面取込

スキャナや複合機を使って、図面をパソコンに取り込みます。

3. 1 図面読込（簡単読込）

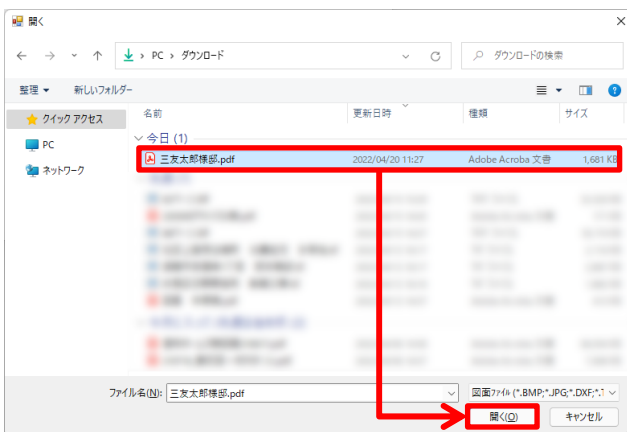


1) 【ファイルから】選択し【次へ】を押します。

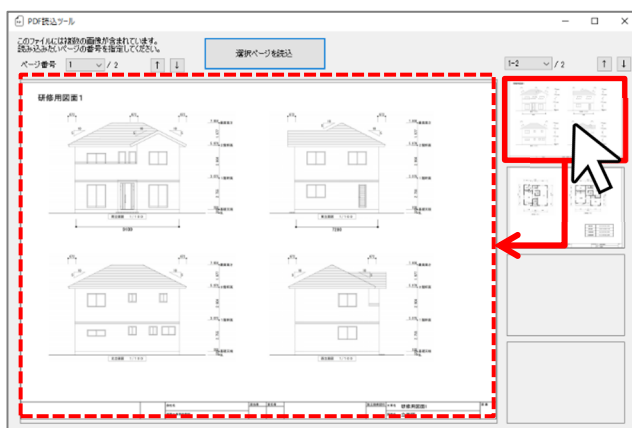
※【ファイルから】では、PDF 以外にも以下の形式のファイルが読み込み可能です。

JPEG (JPG)・BMP・TIFF (TIF)・DXF

※CAD データの読み込みは JWCAD（フリーソフト）で変換した DXF データのみ



2) ファイルの選択画面が開きます。読み込みたいPDFデータを選択し、【開く】で進みます。



3) PDF 読込ツールが開きます。右側の小窓から読み込みたい図面をクリックで選択します。左側に選択した図面が大きくプレビューされます。



PDF が5 ページ以上ある場合は、小窓上にある[↑][↓]で 5 ページ目以降を切り替えます。



4) 読み込みたい図面の選択が出来たら、【選択ページを読込】をクリックします。

※図面は1ページずつ読込・保存する必要があります。



5) 図面データが読み込まれました。

※【ファイルから】PDF 図面が読み込めない場合は、【クリップボードから】の読込方法もご利用いただけます。PDF 画面（Adobe acrobat reader）でスナップショットを撮影し、坪拾い上で【クリップボードから】を選択し【次へ】進んでください。

3. 2 図面の回転と角度調整

ステップ2： 回転・角度調整

後ろに映っている図面の回転や角度を調整します。
調整が終わった、または不要な場合【次へ】をクリックしてください。

90度回転

角度調整

時計回りに90度回転します。

図面が斜めを向いていた時に使用します。

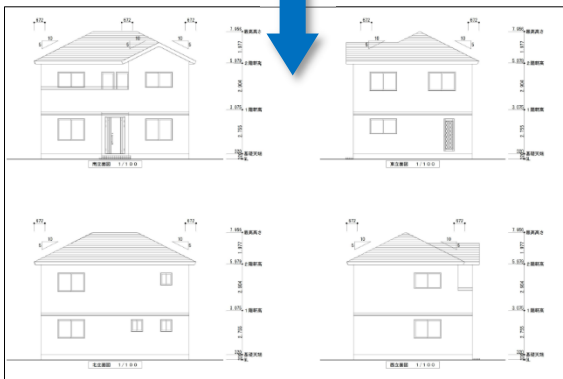
☒ 表示倍率を 150% に調整する

キャンセル 戻る 次へ 完了

- 1) 図面が回転している場合は【90度回転】を押します。
回転した後でも図面が傾いている場合は、【角度調整】を押します。

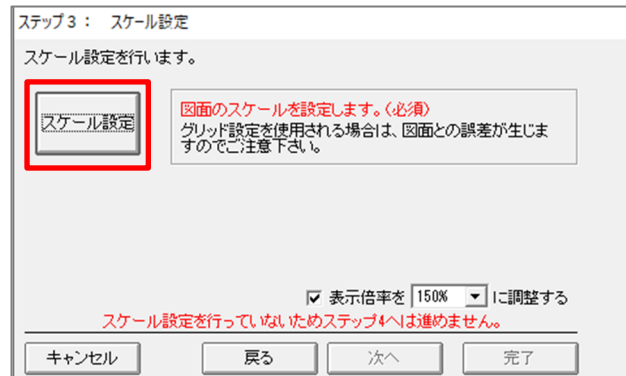


- 2) 角度調整画面では GL ラインや図面枠など、本来水平になる線をなぞります。
線の端と端をクリックすると、なぞったラインを水平に調整します。



3.3 スケール設定

図面の縮尺を合わせるための操作です。**この操作を行わないと次の作業へは進めません。**

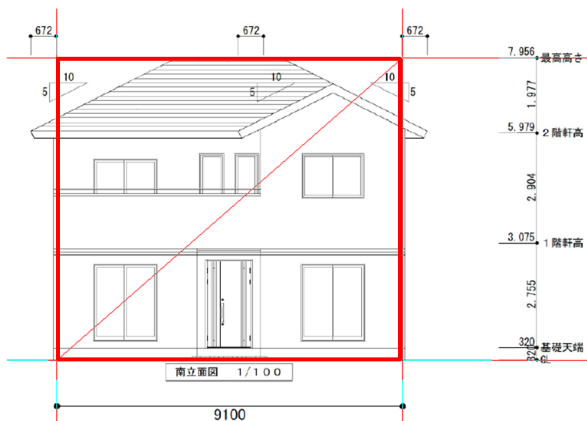


1) 【スケール設定】を押します。



2) 表示倍率を大きくして図面を大きくします。

※ 1)の段階で表示倍率の初期設定をしておくことも可能です。

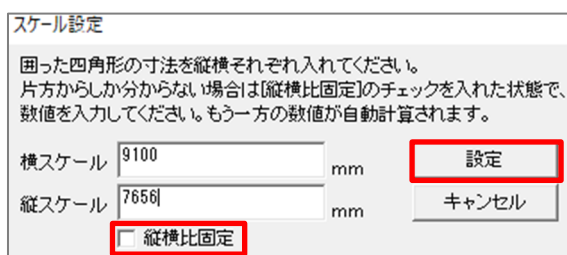


3) 開口や最高高さなど幅と高さのサイズが分かる範囲をマウスで囲みます。高さが分からない場合は、最高高さに合わせておきます。

4) 数値入力する画面が表示されますので、横スケール（幅）・縦スケール（高さ）を入力します。

片方しか分からない場合は【縦横比固定】にチェックを入れてから、寸法が正確にわかっているほうだけ数値を入力します。もう片方の数値が自動計算されます。

最後に【設定】を押し、画面が変わると【次へ】のボタンが押せるようになります。



FAX 図面は縦伸び・横伸びの可能性あり！
サイズが縦・横寸法が分かっている場合はできるだけ、縦スケールと横スケールの両方を設定することをお勧めします。

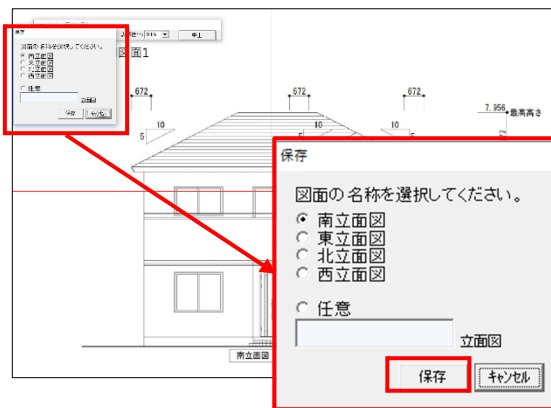
3. 4 図面切抜きと保存



1) 1 方面ずつ分割して保存します。
図面の状態に合わせて 1 立面図ずつになる
ようボタンを選択してください。
今回は 4 面一緒になっているため【4 分割
保存】を選びます。



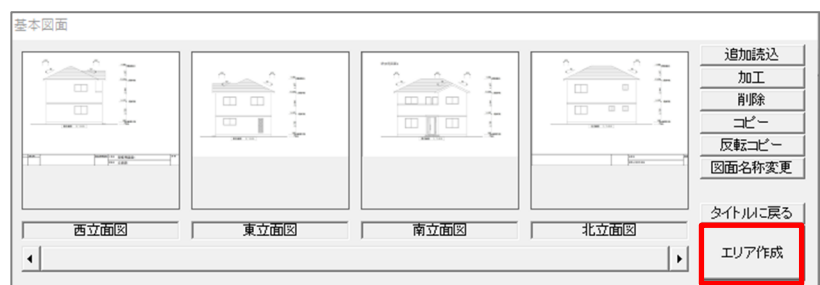
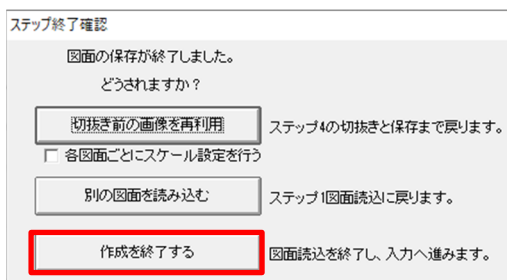
2) 赤の十字ラインが分割ラインになります。
分割する位置でクリックします。
※図面倍率を 100%に戻すことをお勧めし
ます。



3) 各図面の保存をします。保存する範囲だ
けが大きく表示されるため、図面名を選択
して【保存】を押します。
他の 3 面も同様に表示されるので図面名の
指定と保存を繰り返します。

4) すべての図面を読み込めた場合、【作成を
終了する】を押します。

5) 【エリア作成】を押します。



4 節 部材設定

積算を行う為の部材を設定します。基本的には既に登録されている部材の中から適当なものを選択します。

1) 検索条件から物件に応じた検索条件を選びます。
貼り分けやサイディング種類が変わる場合はグループB以降も同じように選択します。

2) 【割付部材設定に進む】を押します。

3) 部材サイズ（外壁の元サイズ）を指定し、モジュール（間柱間隔）を変更すると、割付部材サイズが自動で設定されます。

4) 目地の自動配置設定を行います。横張の場合は縦目地にチェックをしてください。縦張の場合は横目地にチェックします。

5) 【エリア作成に進む】を押します。

Pickup! 部材ごとに取り回しルールを設定する

取回しは建物全体で行います。

余っても取回しの難しい出隅本体等の部材は「取回無し」にする事をお勧めします。

1) 出隅【詳細】を押します。

部材名	単位	計算根拠	数量	計算式	ロス率	単価	掛率	見積単価	備考	取回無し	積算対象
同質出隅455mm	本	長さ	1	1/0.455	1.00	1	1.0000	1		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
シーリング	m	長さ	2	1	1.00	1	1.0000	1		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
縦目地ジョイナー3030mm	本	長さ	2	1/3.03	1.00	1	1.0000	1		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
釘	本	長さ	4	1/0.455	1.00	1	1.0000	1		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

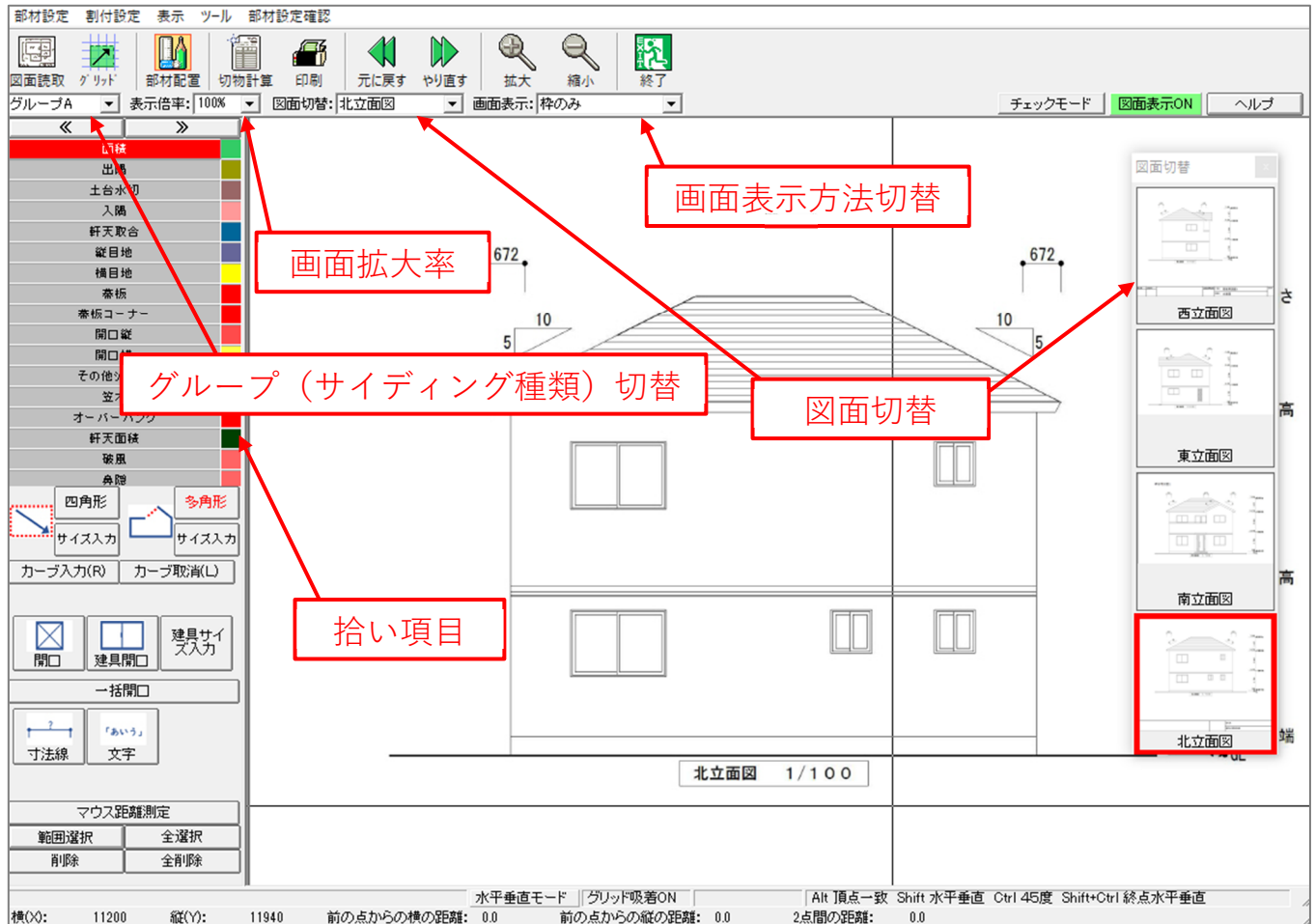
2) 取回しをしない部材は「取回無し」にチェックを入れます。

3) 変更が終了すれば【割付部材設定に進む】を押します。

5節 拾い出し作業（エリア作成）

外壁施工部分を囲い、開口を指定し、出隅などの配置を指定します。

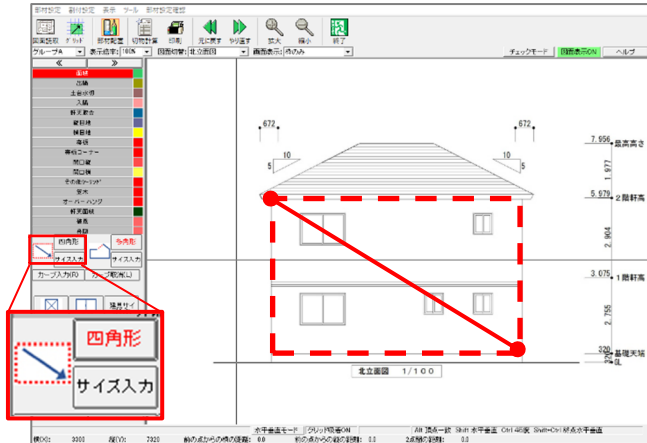
エリア作成画面説明



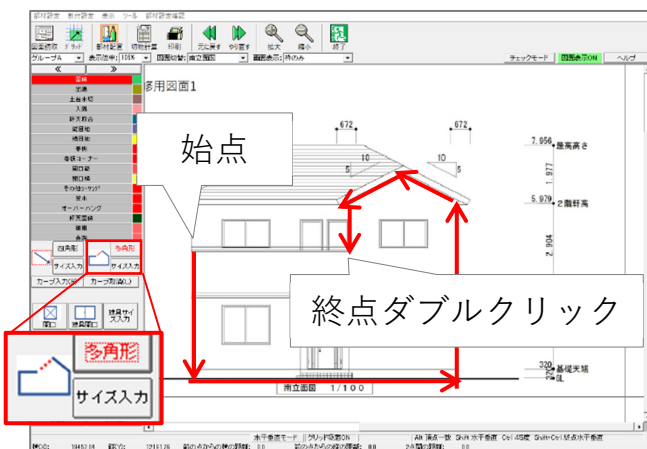
作業ボタンの説明

	図面読取	図面の追加・編集画面に切り替えます。
	グリッド	グリッド入力画面に切り替えます。
	屋根伏せ	屋根伏せ入力画面に切り替えます。 (屋根伏せモードのみに表示されます。)
	部材配置	屋根材・外壁部材の配置画面に切り替えます。
	切物計算	集計を行います。
	印刷	印刷画面に切り替えます。
	元に戻る	一つ前の作業に戻します。
	やり直す	元に戻した作業をやり直します。
	拡大	図面の拡大を行います。
	縮小	図面の縮小を行います。
	終了	トップページに戻ります。

5. 1 外壁施工部分の入力



1) 正方形や長方形の場合は【面積】→【四角形】をモードにし、対角になぞります。

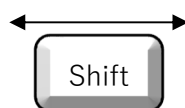


2) 複雑な形状の場合は、【面積】→【多角形】をモードにして各頂点をクリック。

1 周一筆書きで囲みますが、決定は始点まで戻らず、一つ手前でダブルクリックします。

斜めの線を入力する場合は、画面下にある【水平垂直モード】をクリックして【フリーモード】に切り替えて下さい。
この切り替えはキーボードの Shift キーでも切り替えができます。

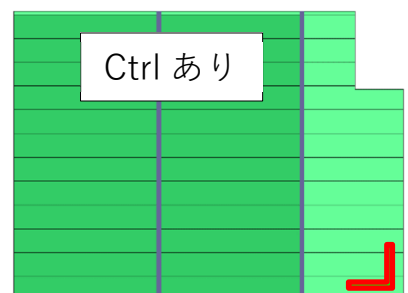
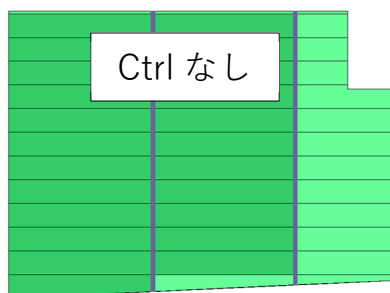
水平垂直モード



フリーモード

Pickup! 多角形入力の終点を直角に閉じるには

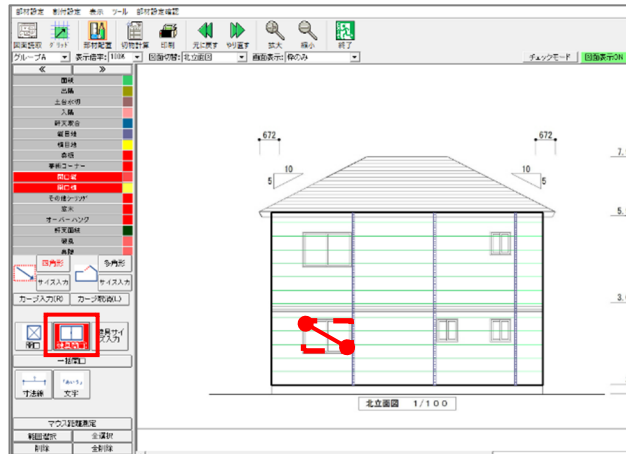
水平垂直モードで、終点をダブルクリックする際にキーボードの Ctrl を押しながらダブルクリックをすると終点から開始点にかけての辺も直角にとることができます。



終点ダブルクリックのみ

Ctrl + 終点ダブルクリック

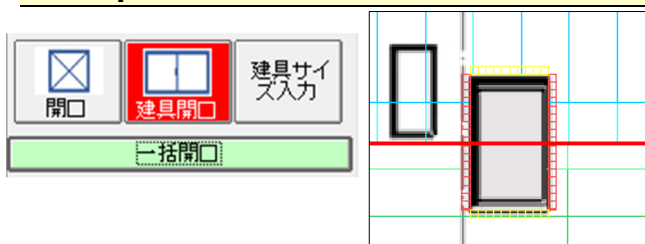
開口部をあける



1) 窓やドアなどの開口部は入力した外壁に重ねて入力します。
左側のメニュー【建具開口】を押します。

2) 窓部分を対角でなぞるとその部分の面積が減算され、さらに周囲のシーリングなどが拾われます。

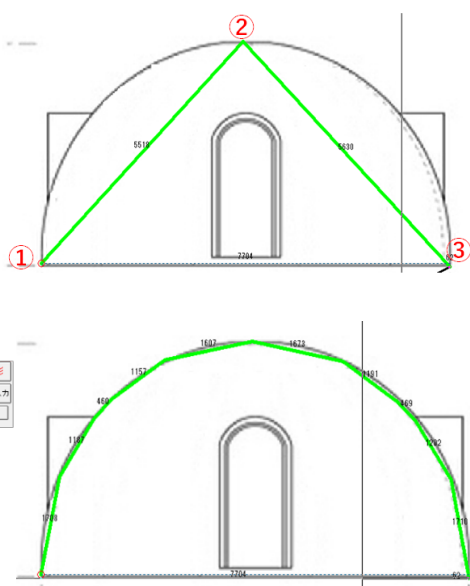
Pickup! 一括開口



面をまたいで開口をする場合、【一括開口】を使用します。
一括開口で開口した箇所はグレーで表示されます。

アーチ形状・丸窓の入力

ドーム型の外壁やアーチ状の面積や開口をとる場合の入力です。



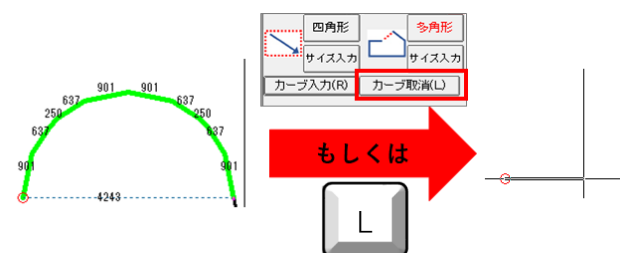
1) 入力モードは「多角形」かつ「フリーモード」にしておきます。

2) 半円の ①始点 ②頂点 ③終点 を3点クリックします

3) 【カーブ入力】ボタンもしくはキーボードの R キーを押します。

3 点の間に点が追加され、カーブに沿った入力になります

4) Enter キーを押すと面を閉じることができます。



カーブ入力をやり直す場合

【カーブ取消】もしくはキーボードの L キーで始点まで戻ります。

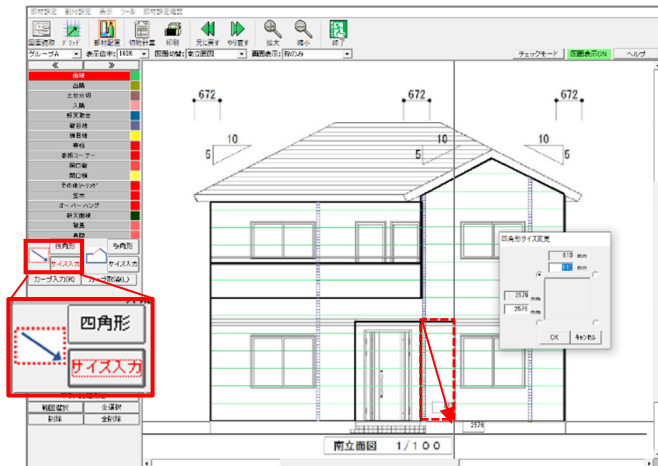
※画面表示方法によっては【カーブ入力】【カーブ取消】ボタンが表示されていないことがあります。キーボードで指定下さい。

隠れた面の入力

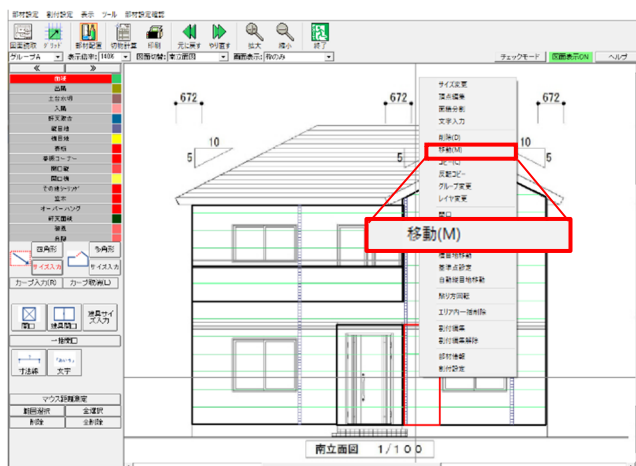
インナーバルコニーや奥まった玄関など平面的に入力できない部分はサイズ入力で数値的に入力することが出来ます。

入力が重なる場合、重なった面を図面外に移動させることをお勧めします。

さらに、文字機能でメモを入れておけば、どこの隠れた面を拾ったのか明確になり、拾い漏れを防ぐことにも繋がります。

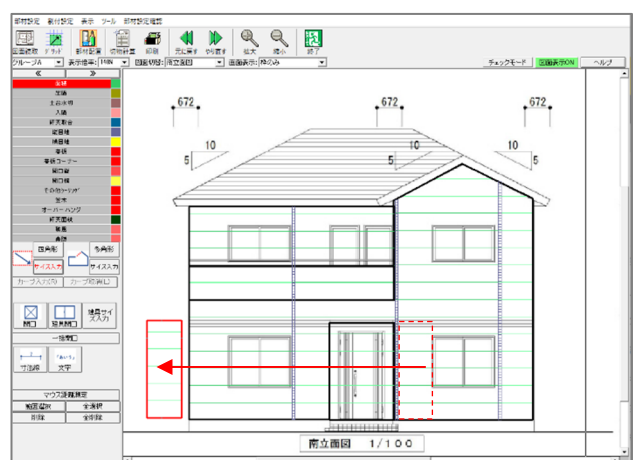


1) インナーバルコニーや奥まった玄関など図面上あらわれていない部分はサイズ入力で数値を指定して入力します。



2) 隠れた面の入力後は重なります。見やすくするために余白部分に移動させます。移動させたい面の上で**右クリック**をします。

※赤く囲まれた形状をよく確認ください。選びたいものと違う方が選択されてしまった場合は、同じところでもう一度右クリックします。選択対象が次の図形に移ります。



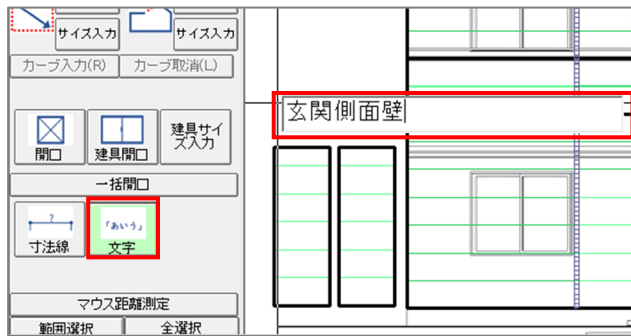
3) 【移動】を選択し、移動させたい余白に**ドラッグ操作**(左クリックボタンを押したままマウスを動かす)をしてください。

4) 終わったら、右クリックをしてください。移動モードが解除されます。

Pickup! メモ書き（文字）を入力する

部材自体に文字を入力する事が出来ます。

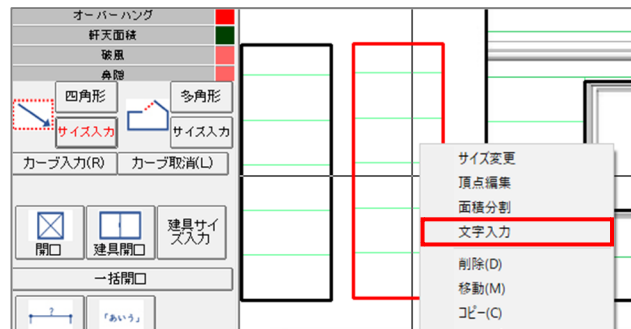
重なった部分で移動しておいた面積にメモとしてご使用いただけます。



1) 【文字】を押します。

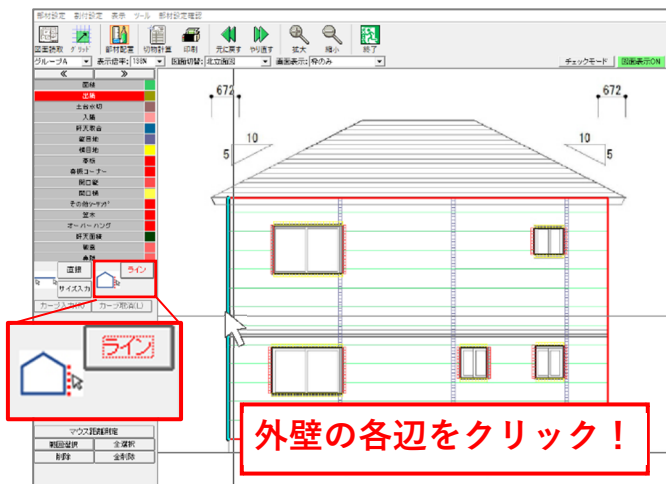
2) 文字を入力したい位置をクリックし、表示する文字を入力します。

3) 『Enter』を押して完了です。



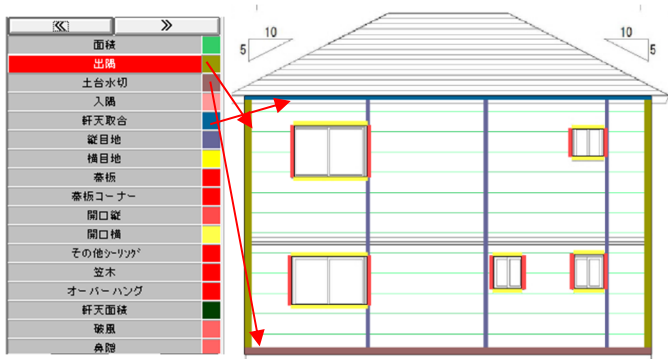
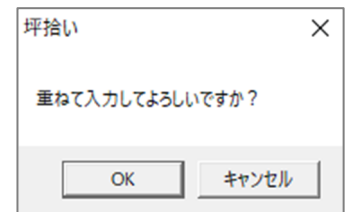
※面積には専用の文字が設定できます。入力済の面積を右クリックしたときのメニューの中の、【文字入力】で文字入力をする、面に付随して移動、削除が行えます。

5. 2 長さを拾い出す



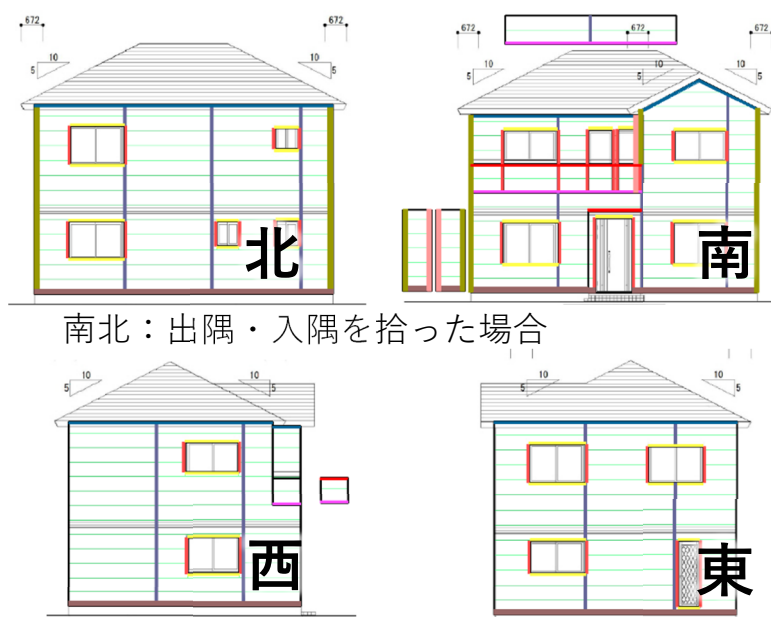
『出隅』や『入隅』などを、外壁の辺と同じ長さで入力する場合、【ライン】を押します。入力したい辺をワンクリックする事で、外壁と同じ長さになります。

※注意！
既に入力されているラインをクリックすると警告が表示されます。「OK」を選択すると、同じ位置に重ねて入力されます。



入力すると左の項目と同じ色のラインがつきますので、入力しているかどうかご確認いただけます。

Pickup! 『出隅』や『入隅』の部材入力



南北：出隅・入隅を拾った場合

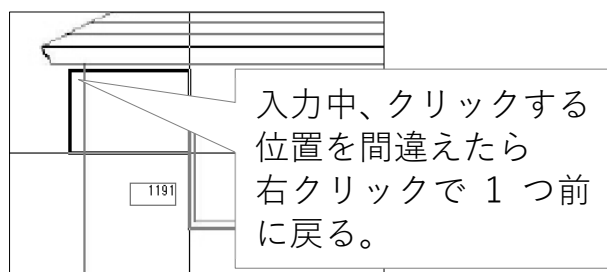
東西：出隅は重複するため拾わない

建物の角になる、『出隅』や『入隅』を、全ての面で入力すると、実際の倍になってしまいます。
このため、『出隅』・『入隅』を拾い出す場合は東西の面か南北の面のいずれかで入力を行うようにしてください。

5. 3 入力物の削除・編集

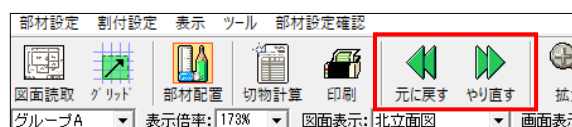
入力を間違えた場合の対処方法です。

面積入力中、クリックする点を間違えた場合



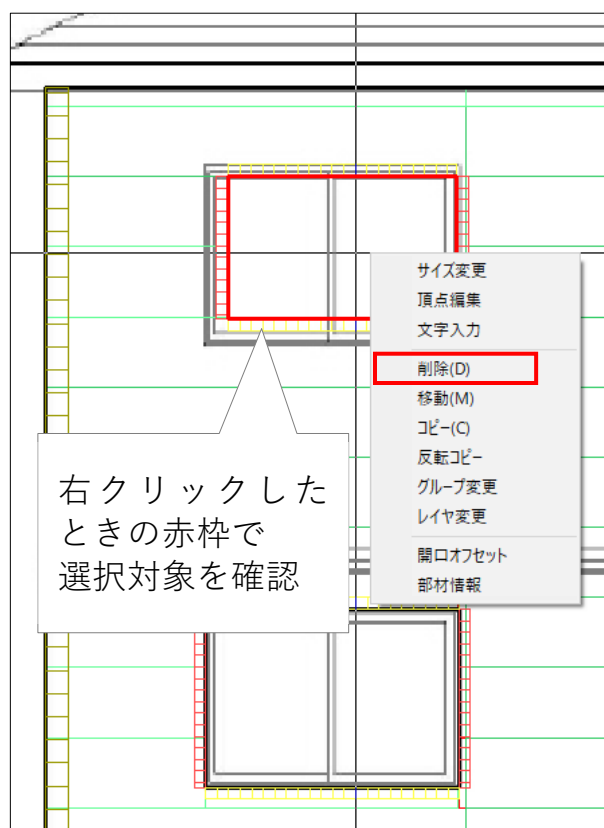
クリックする部分がずれたり、間違えた場合は**右クリック**することで1点前に戻ることができます。

直前に入力した物を元に戻す場合



入力直後にやり直す場合は、画面上部の【元に戻す】ボタンで直前の操作を取り消せます。戻せる操作回数は上限があります。

過去に入力した物を削除する場合

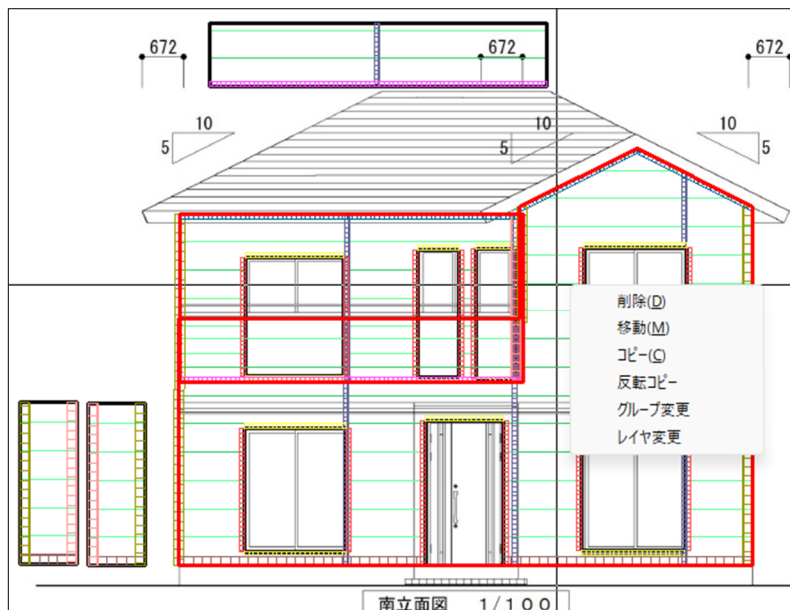


入力したものの上で**右クリック**すると選択できます。選択したものは赤枠で囲まれ、カーソル付近にメニューが表示されます。メニュー内の【削除】をクリックすると選択された図形が削除されます。

※入力物が重なっている場合は右クリックで選択したときに、間違ったものが選択されていないかよく確認ください。選びたいものと違う方が選択されてしまった場合は、同じところでもう一度右クリックします。選択対象が次の図形に移ります。

複数の入力物を一気に選択する方法

①キーボード CTRL キーを押しながら複数選択ができます。

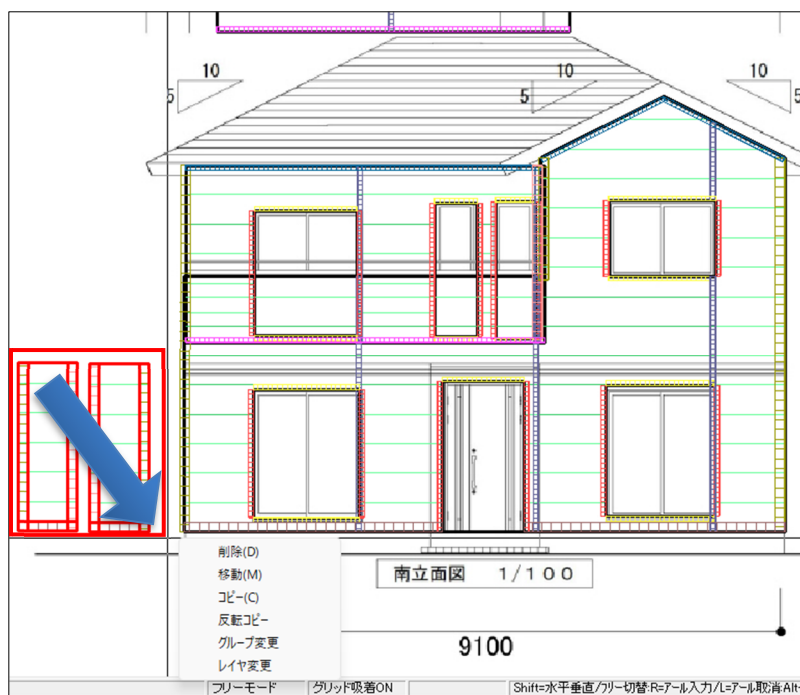


CTRL キーを押しながらマウスを右クリックすることで複数の入力物を選択できます。



CTRL キーを離したときに、右クリックメニューが表示されます。

②密集している部分を一気に選択する場合は範囲選択が便利です。



【範囲選択】ボタンをクリックします。

画面上をクリックすると枠が表示されますので、選択したい部材が入り切るように囲んでクリックします。

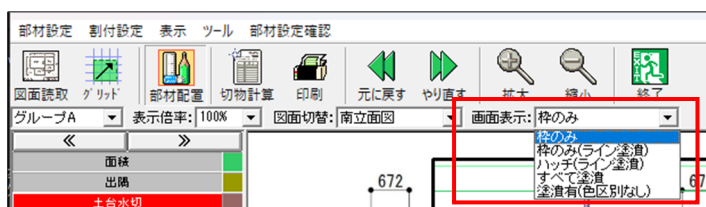
枠内にある入力物をすべて選択することができます。

6 節 拾い出しの確認

入力がすべて終わると、出隅・入隅など入力する場所が同じであるため、確認が困難なことがあります。入力漏れや、入れ間違いの確認方法をご紹介します。

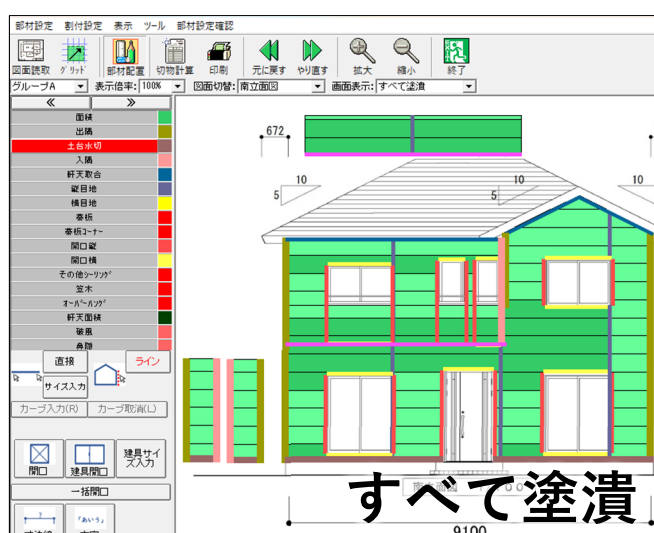
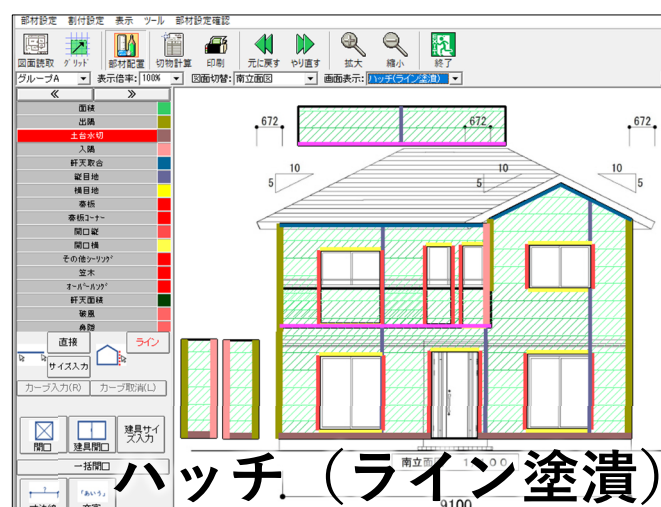
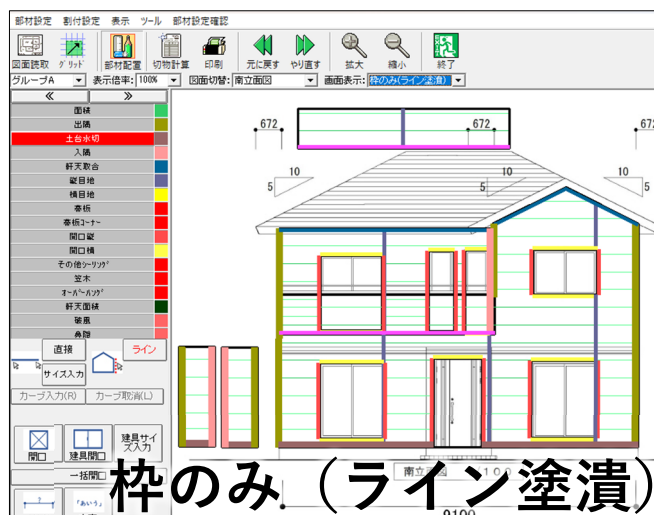
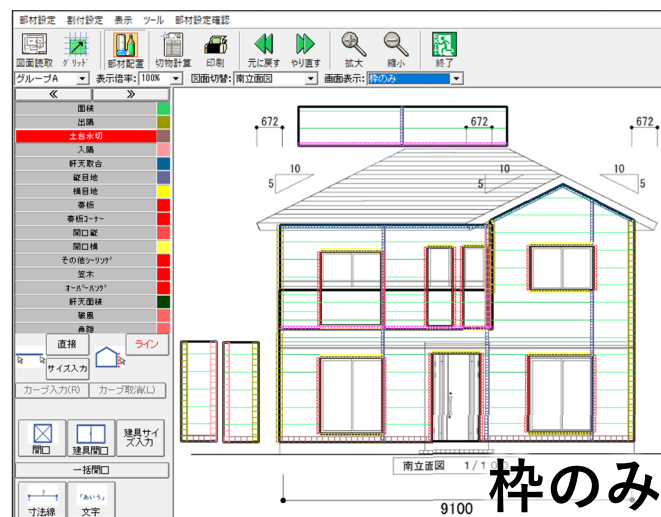
6. 1 入力したものを目立たせる

入力中は下絵の図面が見える必要がありますが、入力が終わって確認をするには入力物を目立たせたいですね。表示を変更することができます。



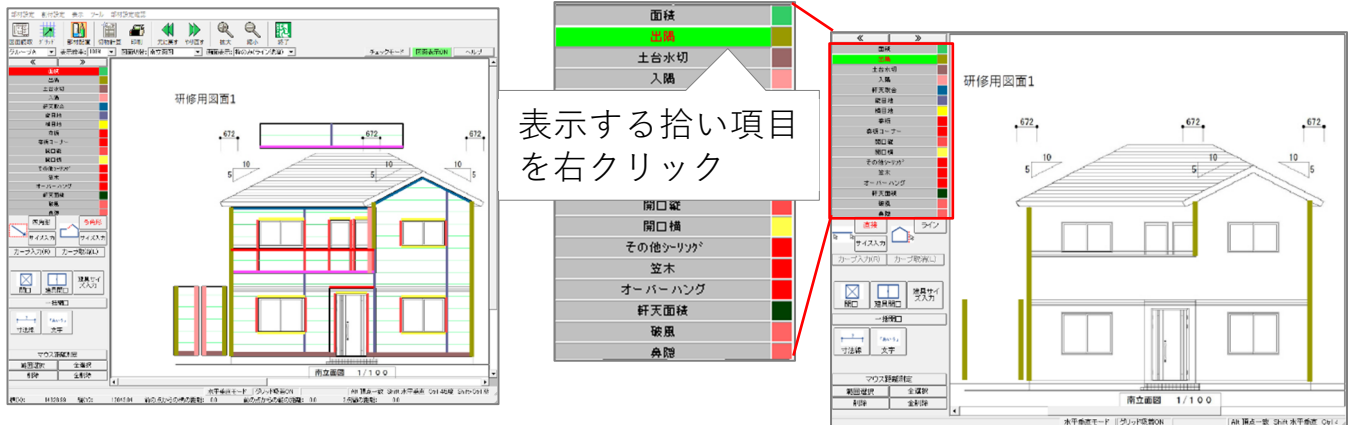
入力画面上部の「画面表示」プルダウンに表示の種類を選択できます。
入力中は『枠のみ』をお勧めします。
ソフトを立ち上げた直後は必ず、『枠のみ』で表示されます。

入力を確認したり、印刷したりする場合は表示を変更し、お好みでご使用ください



6. 2 拾い項目を一つずつ確認する

入力中にすぐに確認する場合は拾い項目を右クリックすることで選んだ拾い項目のみを表示することができます。拾い項目一つずつ確認ができます。



出隅だけを表示することではっきりと出隅が入っている部分を確認できます。表示を戻すには拾い項目を左クリックします。

6. 2 チェックモードで確認する

面積などの入力物を一覧で表示することができます。間違っている場合の変更や削除もここで行うことができます。

画面上部の【チェックモード】ボタンでモードを変更します。



チェックモード画面構成

図面切替

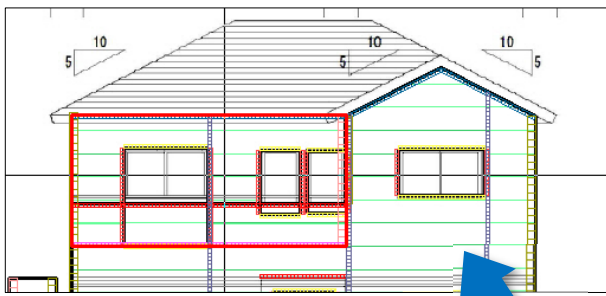
簡易拾い出し表
※表示図面のみ

入力物一覧

図面

項目	面積	単位	倍率	表示
1 グループA	44.73	m ²	5	表示
2 屋根	18.89	m ²	5	表示
3 土台水切	18.89	m	5	表示
4 土台水切	18.89	m	5	表示
5 土台水切	18.89	m	5	表示
6 土台水切	18.89	m	5	表示
7 軒天取合	18.89	m	5	表示
8 軒天取合	18.89	m	5	表示
9 軒天取合	18.89	m	5	表示
10 軒天取合	18.89	m	5	表示
11 軒天取合	18.89	m	5	表示
12 軒天取合	18.89	m	5	表示
13 軒天取合	18.89	m	5	表示
14 軒天取合	18.89	m	5	表示
15 軒天取合	18.89	m	5	表示
16 軒天取合	18.89	m	5	表示
17 軒天取合	18.89	m	5	表示
18 軒天取合	18.89	m	5	表示
19 軒天取合	18.89	m	5	表示
20 軒天取合	18.89	m	5	表示
21 軒天取合	18.89	m	5	表示
22 軒天取合	18.89	m	5	表示
23 軒天取合	18.89	m	5	表示
24 軒天取合	18.89	m	5	表示
25 軒天取合	18.89	m	5	表示
26 軒天取合	18.89	m	5	表示
27 軒天取合	18.89	m	5	表示
28 軒天取合	18.89	m	5	表示
29 軒天取合	18.89	m	5	表示
30 軒天取合	18.89	m	5	表示

入力物の確認



入力物一覧と図面が連動しています。
一覧をクリックすれば、図面の入力物が赤く囲まれます。
また、図面上の入力物をクリックで選択すると、一覧の該当行が緑色で示されます。

チェック 南立面図

一括操作: グループ変更 | グループA | 適用

項目	実数	単位	個数	表示
1 グループA	68.65	m ²	5	<input checked="" type="checkbox"/>
2 面積	-13.30	m ²	7	<input checked="" type="checkbox"/>
3 開口	18.39	m	5	<input checked="" type="checkbox"/>
4 出隅	10.90	m	3	<input checked="" type="checkbox"/>
5 土台水切				

拾い出し表の『表示』欄のチェックを外すと表示を絞り込むことができます。

入力物の設定を変更する

チェックモードで行った変更は元に戻すことができません。
誤って変更・削除しないようご注意ください。

一括操作: グループ変更 | グループA | 適用

チェック	名称	実数	単位	グループ	数値コピー	奥行き(mm)
<input checked="" type="checkbox"/>	面積	44.73	m ²	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	面積	13.89	m ²	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	面積	2.35	m ²	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	面積	2.35	m ²	グループB		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	開口	-1.91	m ²	グループD		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	開口	-2.10	m ²	グループE		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	開口	-1.52	m ²	グループF		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	開口	-1.00	m ²	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	開口	-0.91	m ²	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	開口	-3.12	m ²	グループA		0.00

一覧のグループ・数値コピー・奥行は変更することができます。
数字を入力する列は枠をダブルクリックすると編集ができます。

一括操作: グループ変更 | グループA | 適用

一括操作: 数値コピー | 2 | 適用

一括操作: 削除 | 1 | 適用

チェック	名称	実数	単位	グループ	数値コピー	奥行き(mm)
<input checked="" type="checkbox"/>	出隅	1.70	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	出隅	2.59	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	出隅	2.59	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	出隅	5.78	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	土台水切	9.08	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	土台水切	0.91	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	土台水切	0.91	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	入隅	2.59	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	入隅	2.59	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	入隅	0.99	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	入隅	0.99	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	軒天取合	2.11	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	軒天取合	2.08	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	軒天取合	5.37	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	縦目地	4.03	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	縦目地	5.79	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	縦目地	6.19	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	縦目地	2.59	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	縦目地	0.99	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	柱木	5.35	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	オーバーハング	1.70	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	開口縦	1.23	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	開口縦	1.23	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	開口縦	1.30	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	開口縦	1.30	m	グループA		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	開口縦	0.90	m	グループA		0.00

※一括開口はグループを表示していません。
※数値コピーが空白の場合は数値コピーを行ってありません。

複数の入力物に同じ変更をする場合は、変更する行にチェックを入れ、一括操作で行う動作を選択します。
一括操作の内容によって右の設定枠が変わります。
いずれの場合も変更する内容を設定して【適用】ボタンを押します。

一括操作: グループ変更 | グループB | 適用

一括操作: 数値コピー | 2 | 適用

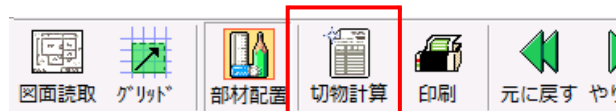
一括操作: 削除 | 1 | 適用

7 節 積算結果と印刷

全ての図面で入力したものを確認後、板の枚数を確認し、積算結果を印刷しましょう。

7. 1 積算結果の確認、印刷

切物計算画面説明



全ての入力が完了しましたら【切物計算】を押します。

1 切物計算

●割付算定枚数	まもの枚数	切物枚数	総枚数
グループA	93	64	157
グループB	0	0	0
グループC	0	0	0
グループD	0	0	0
グループE	0	0	0
グループF	0	0	0
グループG	0	0	0
グループH	0	0	0
グループI	0	0	0
グループJ	0	0	0

2 ●面積算定枚数

グループ	面積	部材面積	総枚数
グループA	182.564	1.37865	133
グループB	0	1.37865	0
グループC	0	1.37865	0
グループD	0	1.37865	0
グループE	0	1.37865	0
グループF	0	1.37865	0
グループG	0	1.37865	0
グループH	0	1.37865	0
グループI	0	1.37865	0
グループJ	0	1.37865	0

3 割付モード選択

● 通常取り直し割付

○ 詳細取り直し割付

○ 取り直し割付無し

○ 四周あいじゃくり

○ 長辺切代幅/ビート幅計算割付

端数無視縦 0 mm

端数無視横 0 mm

端数無視

4 設定

5 割付番号

6 積算結果

再計算

閉じる

面積から算定した枚数を見積に反映させる。

割付描画 標準

- ①割付算定枚数：外壁枚数を表示します。
- ②面積算定枚数：外壁面積・除算枚数を表示します。
- ③割付モード選択：割付のルールを変更します。
 - ・サイディングは通常 or 取直し無し
 - ・ALC は詳細取直しを選択
- ④端数無視：ここで設定したサイズ以下の割付を無視します。(赤色で表示されます)

端数無視

指定した値より小さい割付は無視します。

縦方向の寸法 80 mm

横方向の寸法 80 mm

設定

- ⑤割付番号：入力した外壁の割付番号を表示します。
- ⑥積算結果：拾い出し結果を表示します。

積算結果

印刷 保存 読み込み 追加読み込み 編集 行追加 行削除 該征費追加 見積書作成 戻る

社内詳細 一般 通常表示 拾出表示 合算 グループ合算

タイトル 拾い出し書 日付 2021年11月19日 積算番号 0001

得意先 〇〇株式会社 敬称 様 会社名 パンソー販売株式会社

合計金額 ¥4,738 消費税計算 10 % 作成者 パンソー販売株式会社

上記価格に消費税は含まれておりません。

品名	備考	計量	実数	Q2率	数量	単位	単価	見積単価	単価	合計
1 グループA										
2 グループB										
3 面積			182.564			m ²				
4 窓サッシ(横断)			157.000	1.00	157 枚		1.0000	1	1	157
5 窓サッシ(縦断)			4.564	1.00	5 枚		1.0000	1	1	5
6 釘	1枚当り21本		3297.000	1.00	3297 本		1.0000	1	1	3297
7 網目			334.902	1.00	335 m		1.0000	1	1	335
8 出隅			29.389			m				
9 出隅出隅455mm			60.000	1.00	60 本		1.0000	1	1	60
10 シーリング			59.972	1.00	60 m		1.0000	1	1	60
11 縦目地/シール3030mm			19.792	1.00	20 本		1.0000	1	1	20
12 釘			263.624	1.00	264 本		1.0000	1	1	264
13 土台水切			33.586			m				
14 土台水切3030mm			11.088	1.00	12 本		1.0000	1	1	12
15 入隅			7.624			m				
16 入隅排水切3030mm			2.516	1.00	3 本		1.0000	1	1	3
17 片隅排水切3030mm			2.516	1.00	3 本		1.0000	1	1	3
18 シーリング			7.624	1.00	8 m		1.0000	1	1	8
19 網目			33.406			m				
20 シーリング			33.406	1.00	34 m		1.0000	1	1	34
21 パック材			33.406	1.00	34 m		1.0000	1	1	34
22 網目			52.389			m				
23 縦目地/シール3030mm			17.290	1.00	18 本		1.0000	1	1	18
24 シーリング			52.389	1.00	53 m		1.0000	1	1	53
25 釘			52.389	1.00	53 m		1.0000	1	1	53
26 出隅			47.813			m				
27 シーリング			47.813	1.00	48 m		1.0000	1	1	48
28 防水テープ			47.813	1.00	48 m		1.0000	1	1	48
29 片隅排水切3030mm			15.717	1.00	16 本		1.0000	1	1	16
30 網目			43.348			m				
31 シーリング			43.348	1.00	44 m		1.0000	1	1	44
32 防水テープ			43.348	1.00	44 m		1.0000	1	1	44

【積算結果】を押すと出隅などの部材も表示されます。
出隅など各部位ごとの数量を確認できるようになっています。

全材料の合計を確認するには【グループ合算】を押すとシーリングなどの部材がグループ毎に合算されます。

表示している積算結果を印刷します。
画面左上の【印刷】を押します。

印刷プレビュー画面が表示されます。
プリンタマークボタンを押して印刷します。

拾い出し書の得意先名と自社情報を変更する場合は積算結果画面で行えます。
【編集】 - 【会社情報設定】
【編集】 - 【得意先情報設定】
でそれぞれ情報を変更する事が出来ます。

Pickup! 積算結果表に面積表を表示する

部材の数量のほか、各図面の面積や役物の長さを表形式で積算結果に追加して、印刷することが可能です。

【ファイル】 - 【印刷設定】
印刷設定画面のオプション、『拾い出し表を追加出力する』にチェックを入れます。

【OK】を押します。印刷時に、面積表が追加表示されます。

面積					
グループ					
モジュール	部材サイズ	総面積	総開口面積		
110	3000×400	175.81㎡	33.53㎡		
図面別面積					
図面名	面積	開口面積	開口数	透気開口面積	透気開口数
西立面図	40.21㎡	0.00㎡	0箇所	3.55㎡	2箇所
東立面図	35.30㎡	0.00㎡	0箇所	6.57㎡	4箇所
南立面図	53.44㎡	0.00㎡	0箇所	17.19㎡	7箇所
北立面図	46.86㎡	0.00㎡	0箇所	6.92㎡	7箇所
小計	175.81㎡	0㎡	0箇所	33.53㎡	20箇所
役物					
グループ					
役物	面積	出隅	出隅	土台水引	土台水引
入隅	7.59㎡	軒天取合	25.37㎡	縦貫地	55.91㎡
開口庇	55.22㎡	開口壁	49.64㎡	土台水引	10.99㎡

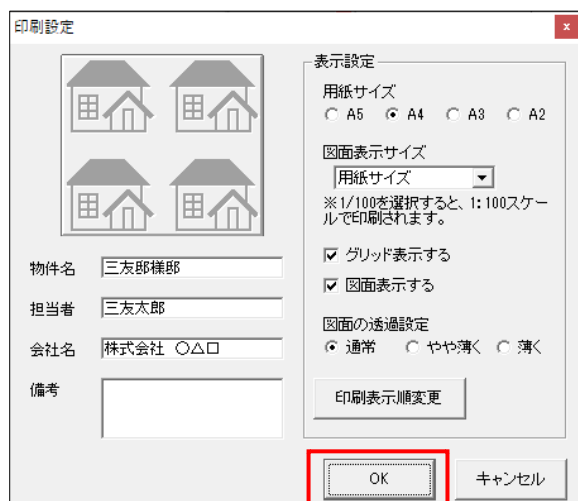
7. 2 割付図面の印刷



【印刷】を押します。



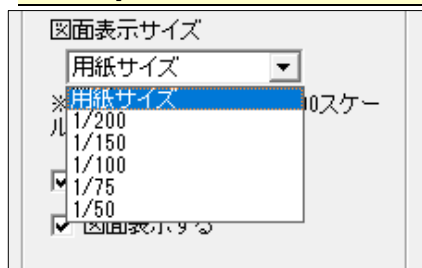
①一面に印刷する図面の枚数とレイアウトを選択します。



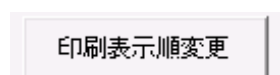
②「物件名」・「担当者名」・「会社名」・「備考」を設定できます。※不要な場合は空欄で設定して下さい。

その他、表示設定で印刷に必要な設定を行い、【OK】を押します。

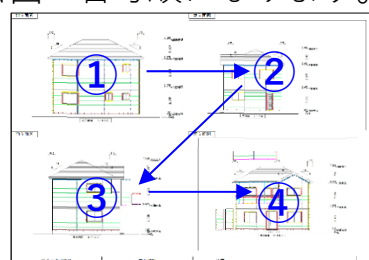
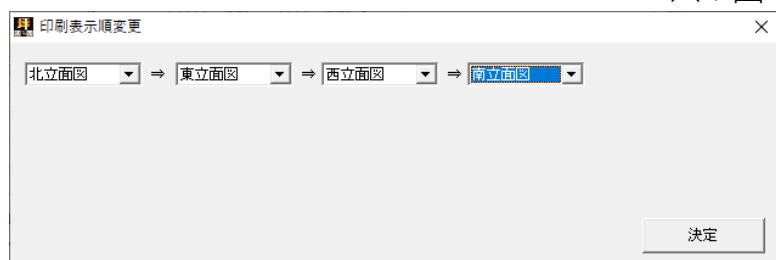
Pickup! 割付印刷の表示方法について

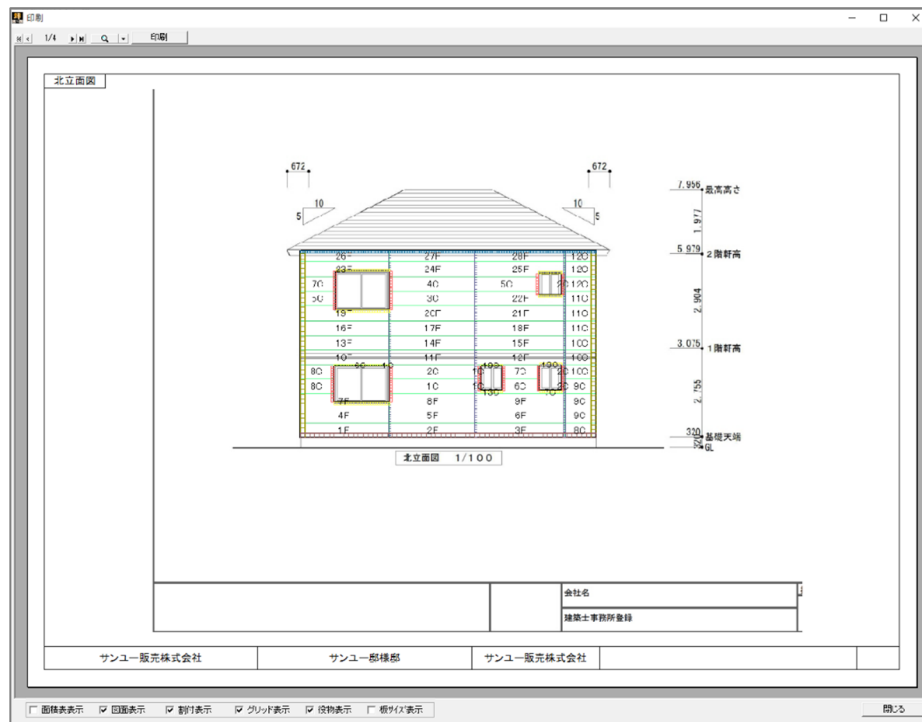


『図面表示サイズ』で印刷する倍率を設定する事が出来ます。
※倍率は初め「用紙サイズ」となっています。用紙に合わせたサイズで印刷されます。



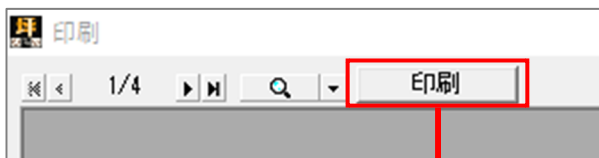
印刷で表示する順序の設定を変更できます。
※4面の場合は右図の番号順になります。



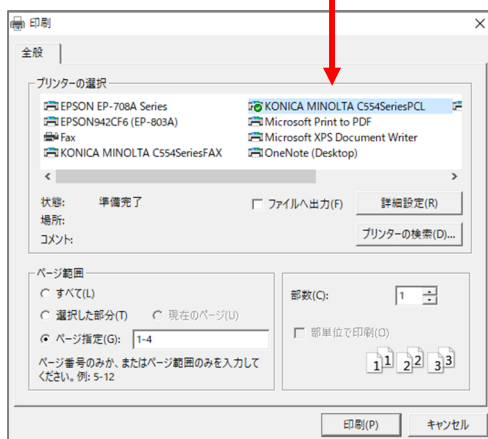


印刷プレビュー画面が表示されます。
表示する項目を選択する事が出来ます。

面積表表示・・・グループ毎の面積、開口数量を表示します。
図面表示・・・読込んだ図面を表示します。入力物のみ印刷したい場合は外します。
割付表示・・・割付している板ごとに割付け番号を表示します。
グリッド表示・・・グリッドを表示します。（グリッドの設定が必要です。）
役物表示・・・役物（面積以外の項目）を表示します。



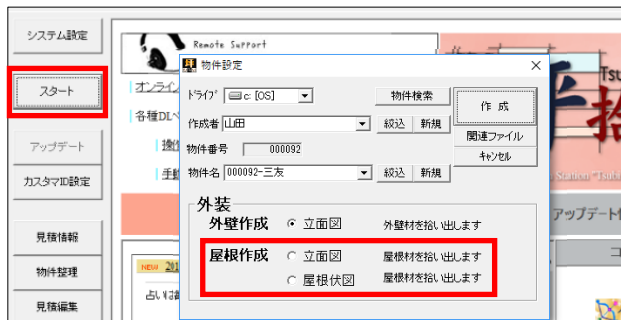
印刷の際は【印刷】 ボタンをクリックします。
プリンタを選択し、【印刷】を押してください。



第2章 屋根の拾い出し

屋根の拾い出し方法は2通りあります。立面図を下絵とする方法と屋根伏図を下絵とする方法です。どちらも勾配の設定に注意して入力します。

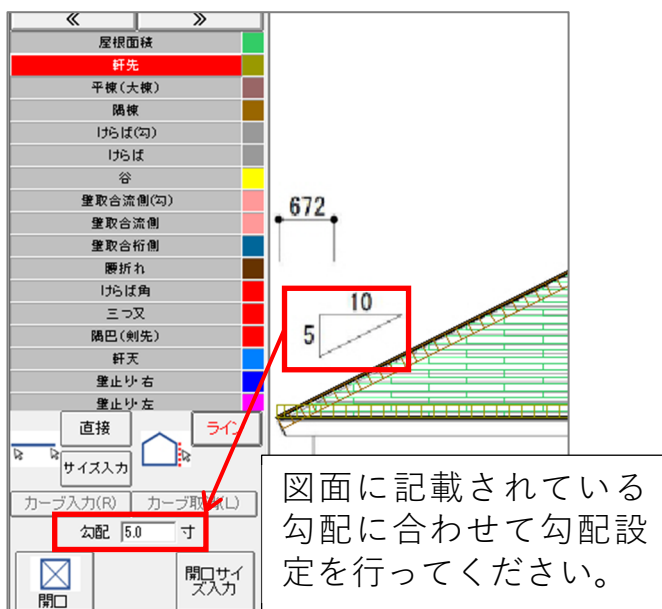
1 節 屋根の拾い出しの注意点



下絵図面に合わせて拾い出しモードを選択します。

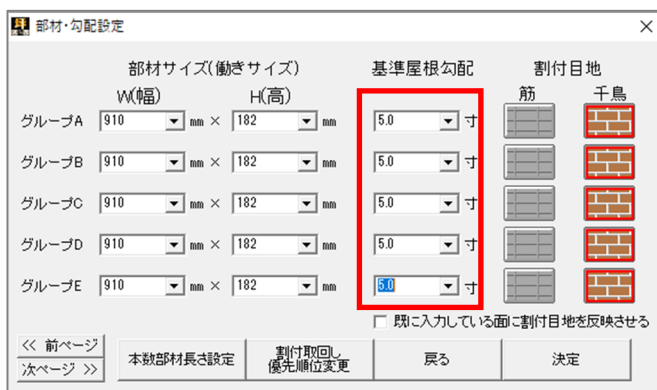
外壁と同様建物を横から見た図面で拾う場合は「立面図」

上から見た屋根伏せ図で拾う場合は「屋根伏せ図」モードを選んでください。



外壁モードと基本操作は同じです。図面を読み込み、拾い出す項目を選んで入力します。

ただし、屋根には勾配がつきますので、面の勾配に合わせて勾配設定を行ってから入力します。



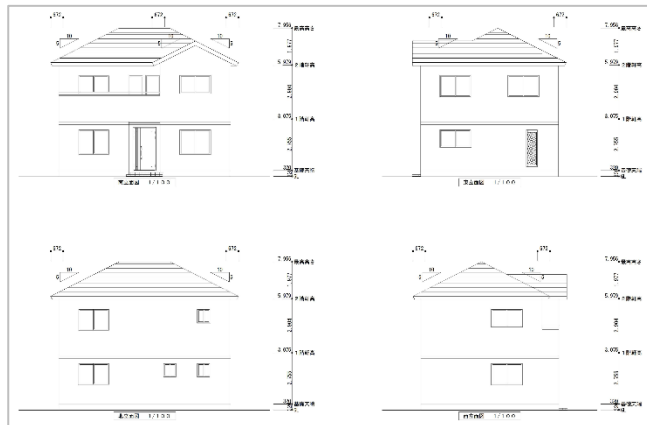
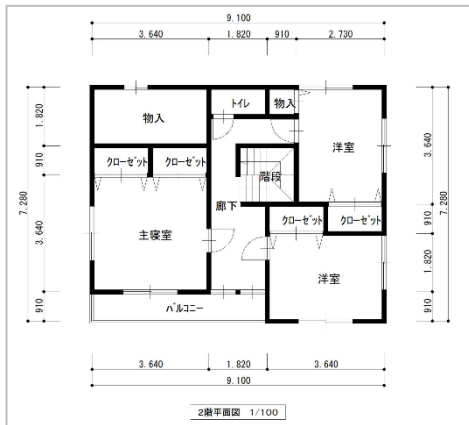
勾配の設定は部材・勾配設定で基本の設定を行えます。

メインの屋根勾配をあらかじめ設定しておきましょう。

2節 屋根伏図を作成する

複雑な屋根の場合、立面図では一部の屋根が隠れてしまっている場合があります。このため、屋根伏図があれば屋根伏図を参考にして拾い出すことをお勧めしますが、屋根伏図まではないことが多いです。

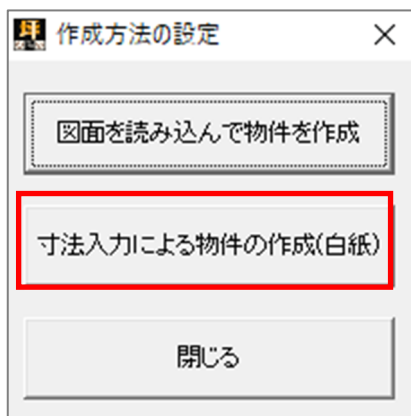
平面図と立面図をもとに屋根伏せを作成し、作図した屋根伏図を下絵にして拾い出すことができます。



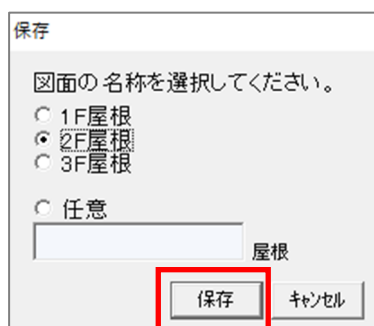
1) 2階平面図と立面図を用意します。



2) モードは屋根伏図モードを選択してください。

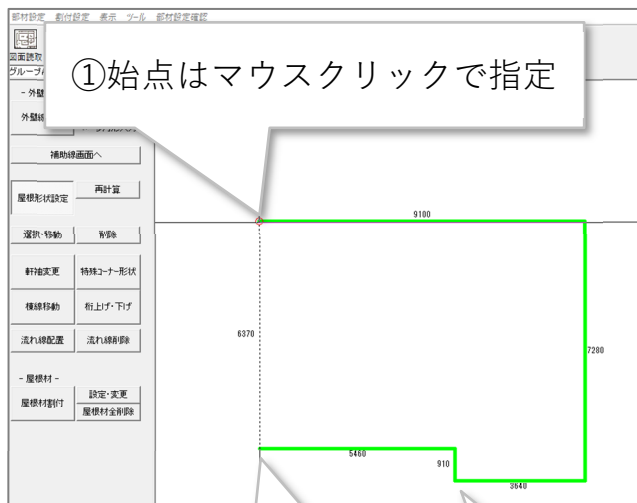
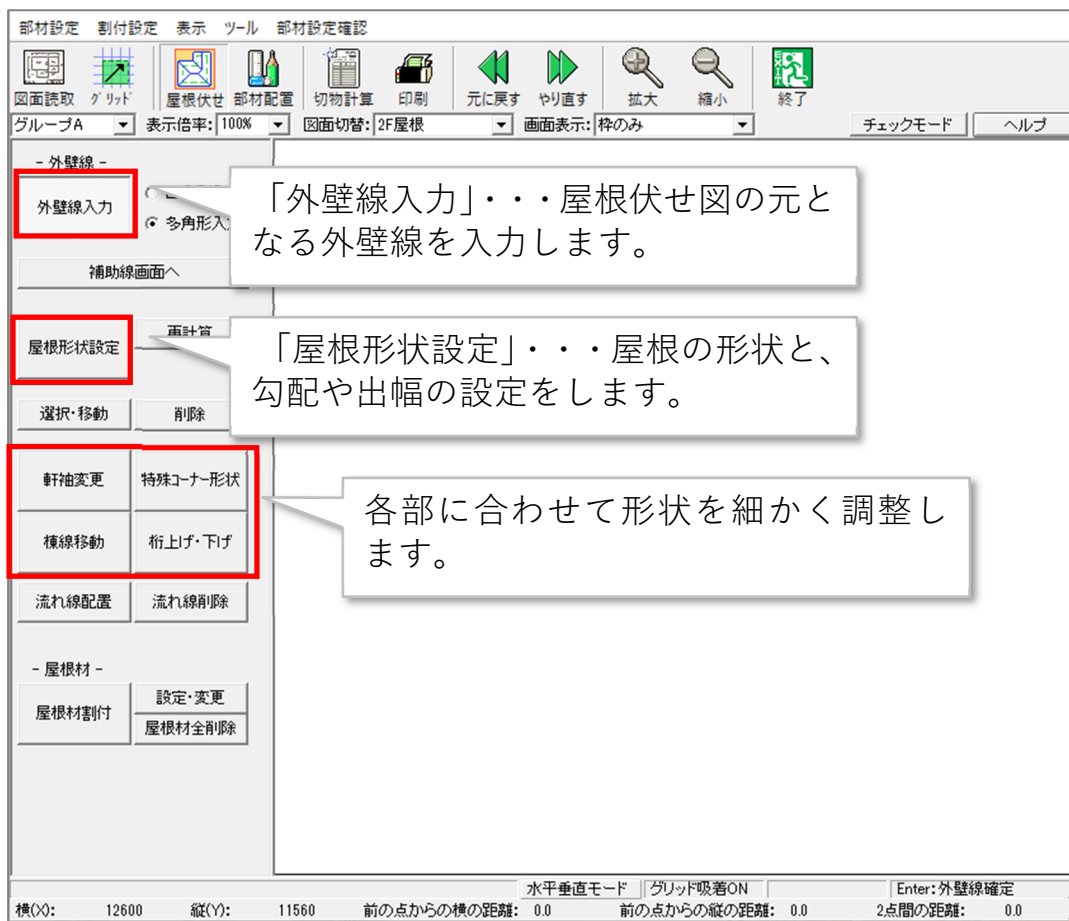


3) 下絵となる図面はないため、『寸法入力による物件の作成』を選択します。



4) 図面名を選択して【保存】を押します。

屋根伏せモード画面



5) 【外壁線入力】で平面図をもとに、屋根がかかっている範囲の外周を入力します。

①始点となる1点目をクリックします。

②始点から2点目までの長さと方向を指定します。【長さ】に「9100」と入力後、キーボードの矢印キー【→】を押します。すると、右方向に9100の長さの線が引かれます。

③6点目まで同じ要領で入力し、6点目から始点を結ぶ線は、Enterキーを押すだけで作成されます。

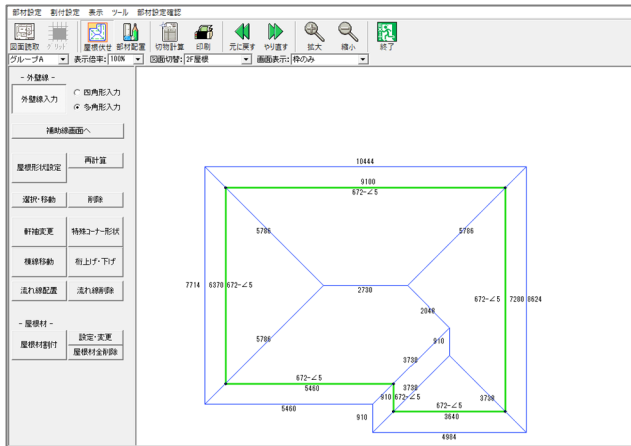
③始点の1点前まで来たら【ENTER】キー

②2点目以降はキーボードで数値と方向キーで指定



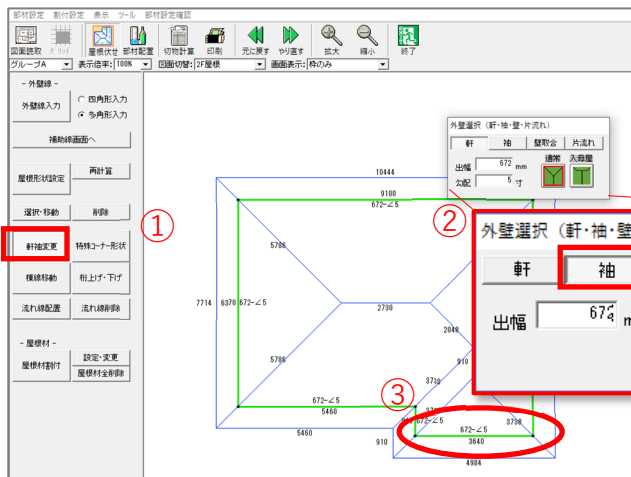
6) 屋根の大まかな形状を指定します。
Enter で外壁線が完成すると、左図の画面が表示されます。

出幅・勾配・屋根の形状を設定します。

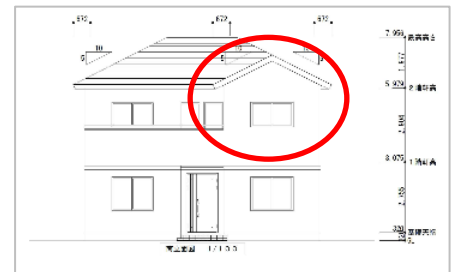


(今回の設定)
軒出幅 672mm
袖出幅 672mm
形状は「寄棟」

【OK】を押すと外壁線の形に合わせて寄棟の形状を自動作成します。



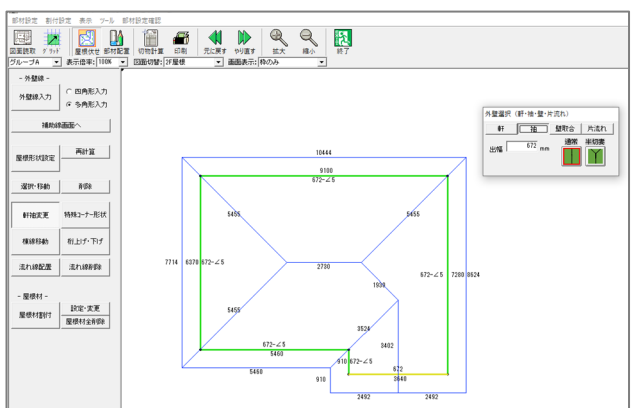
7) 立面図と見比べて屋根の形状が違う部分を修正します。
南立面図の一部が切妻形状ですので、その辺を『袖』に指定します。

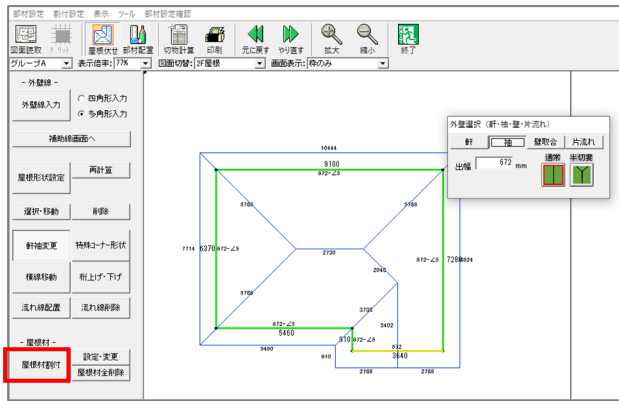


① 【軒袖変更】を押します。

② 【袖】を押します。

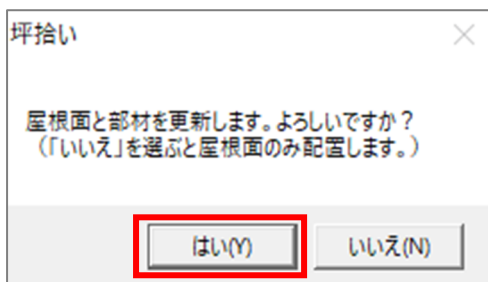
③ 変更する辺をクリックします。
リアルタイムに形状が変更します。



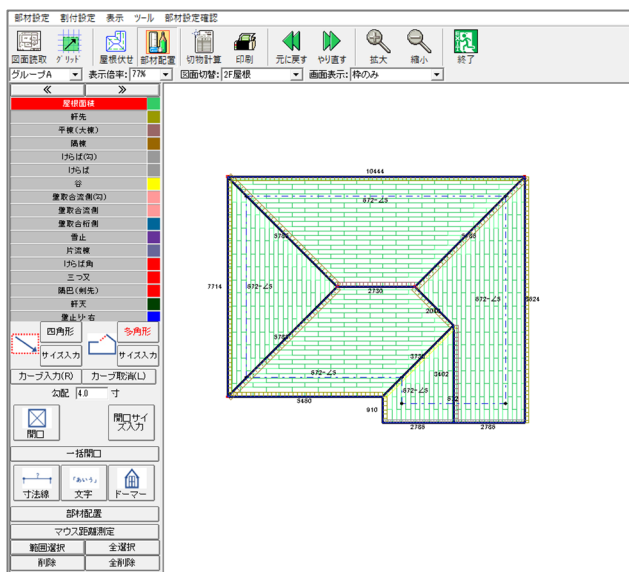


8) 屋根伏図が完成しました。これを下絵に【部材配置】モードで面積を入力します。屋根伏せ機能を使用した場合は面積や役物を配置する補助機能を活用すると時間短縮になります。

【屋根材割付】を押します。入力した屋根形状に合わせて面積が自動配置されます。



【はい】を選んで、役物も一緒に配置します。



面積と役物が配置されました。部材配置モードに切り替わります。

入力されている面積の形状や役物に間違いがないかご確認ください。また、雪止め金具など自動で配置できない部材もありますので、必ずご確認をいただきますようお願いいたします。

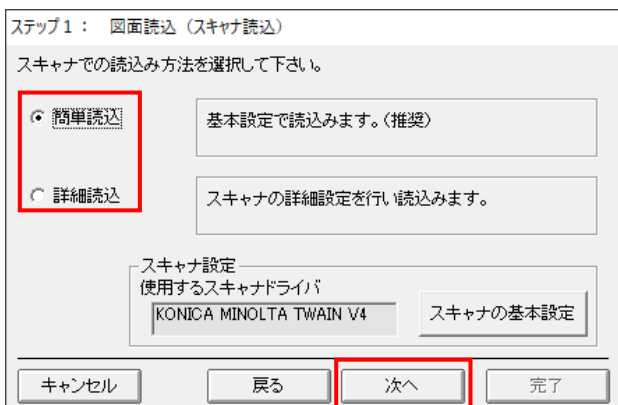
※屋根伏せ図モードの詳しい使い方については、『屋根伏せファーストステップマニュアル』『屋根伏せ詳細マニュアル』をご参照ください。

第3章 そのほか覚えておく便利な機能

『ファイルから』以外の図面読み込み方法

『スキャナから』を選択した場合（図面が印刷物の場合）

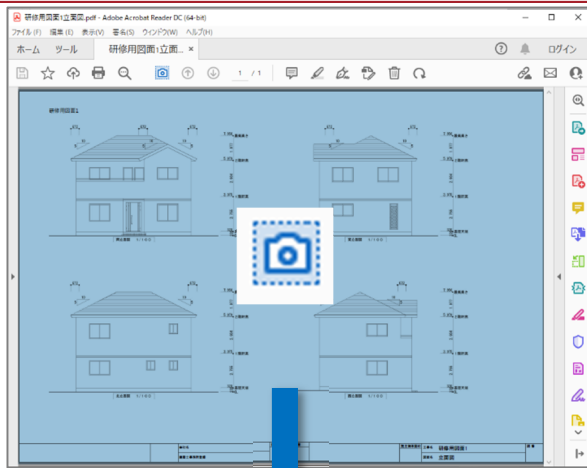
坪拾いに直接スキャンする方法です。TWAIN 対応スキャナドライバを入れる必要があります。また、タイトルシステム設定の「ダイレクトスキャン」設定を行っておく必要があります。



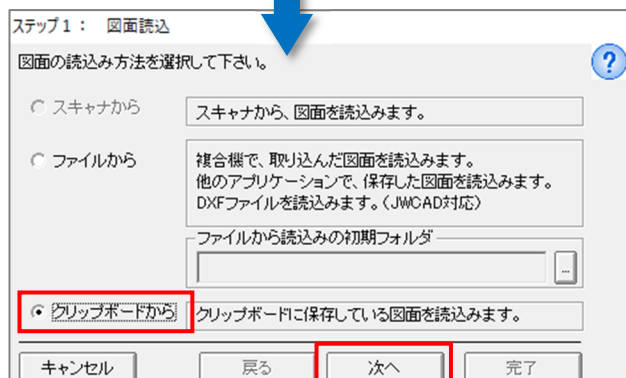
スキャナがUSBケーブルなどで直接繋がっているタイプの場合は【簡単読込】を、複合機（スキャナ機能付きコピー機）のタイプは【詳細読込】を選択し、【次へ】を押します。

※【詳細読込】では複合機（スキャナ機能付きコピー機）の読取設定を行うことが出来ます。

『クリップボードから』を選択した場合

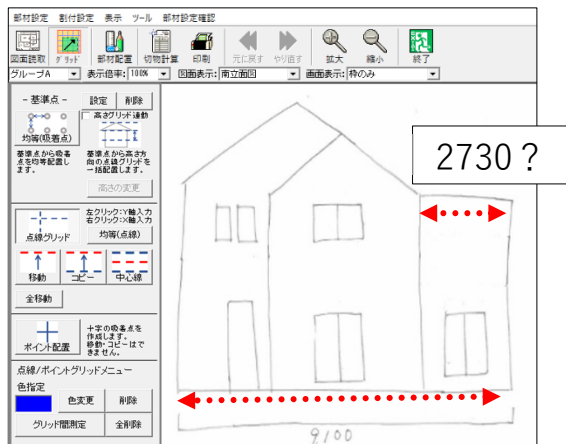


PDF が『ファイルから』読み込みできない場合に使用します。PDF 画面（Adobe acrobat reader）でスナップショットを撮影し【クリップボードから】を選択し【次へ】進んでください。



手書き図面を下絵にして拾い出す

リフォームなど図面がない場合はグリッドを設定し、数値で正確に入力します。手書き図面はスケール設定で全体の幅は合わせることができますが、途中の壁や窓の位置などはずれているため、グリッドを使用します。



スケール設定した 9100 は縮尺が合っています。

図面読み込みで手書き図面を読み込みます。スケール設定をした範囲の縮尺は合っていますが、それ以外の長さは手書きのため正確ではない可能性があります。

【グリッド】で距離を正確に指定します。

1 グリッド設定



1) グリッドを設定します。【グリッド】を押し、グリッドモードにします。

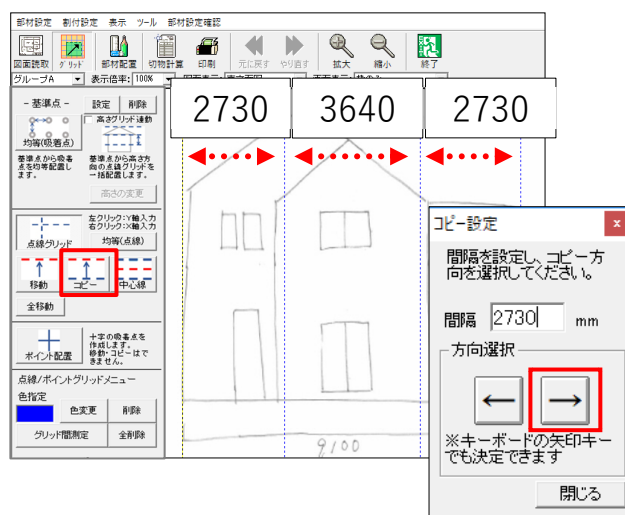
2) 基準となるグリッドを入力します。【点線グリッド】モードになっていますので、外壁の端を左クリックします。縦の点線のグリッドが入力されます。

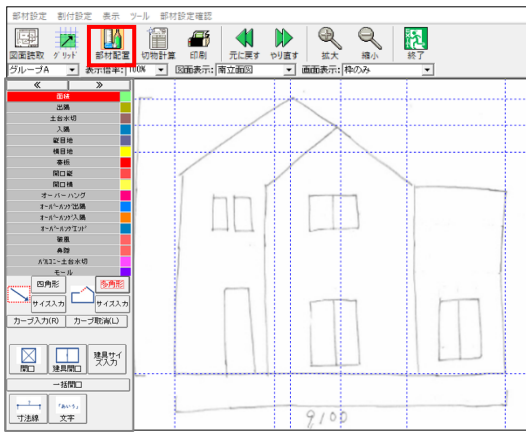
3) 基準のグリッドをコピーして各壁の幅ずつグリッドを配置します。【コピー】を押してから、先ほど配置したグリッドを左クリックで選択します。

4) コピー設定画面で基準グリッドからの間隔を設定します。コピーする方向を選択すると、指定した間隔の位置にグリッドがコピーされます。

5) コピーした位置からさらに間隔を入れてコピーを続けることができますので、外壁のポイントごとにグリッドを配置します。

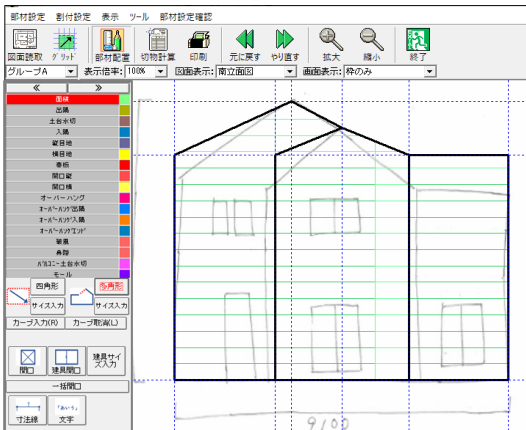
6) 高さも同様に横のグリッドを配置します。





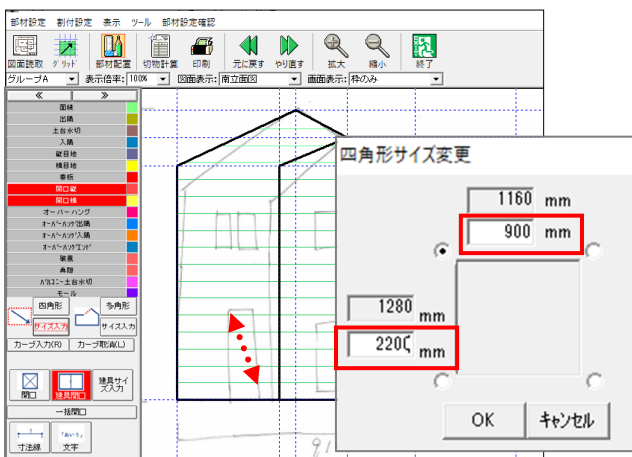
面積の形状に合わせてすべての頂点がとれるようにグリッドを数値で指定します。

7) 部材配置モードに戻ります。【部材配置】を押します。



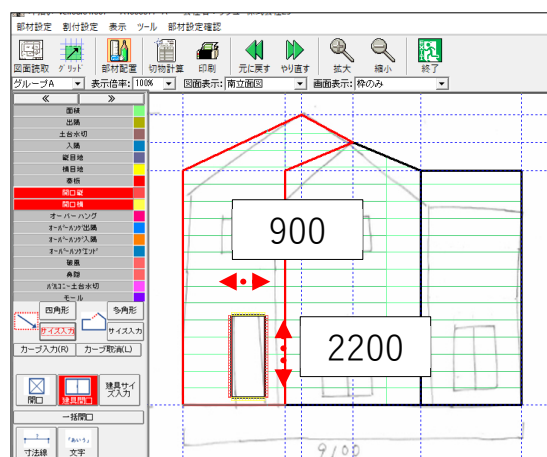
8) 面積をグリッドに合わせて囲むことで正しい寸法で入力することができます。

2 寸法を指定して開口する



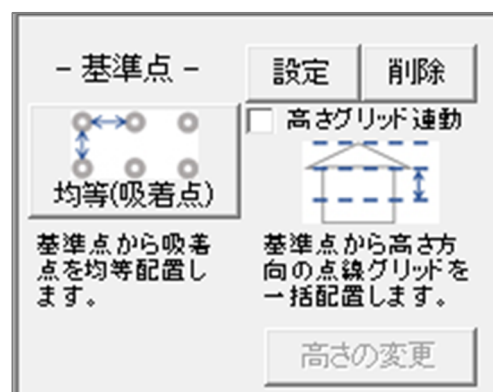
1) 建具のサイズも正確ではないため、数値で設定します。建具開口をする際に、入力モードを【四角形サイズ入力】にしてください。

2) 開口がある位置で対角に2点クリックします。四角形サイズ変更画面が表示されますので、開口の横幅と縦幅を指定します。



3) 指定した寸法の開口を入力することができます。

—その他のグリッド機能—



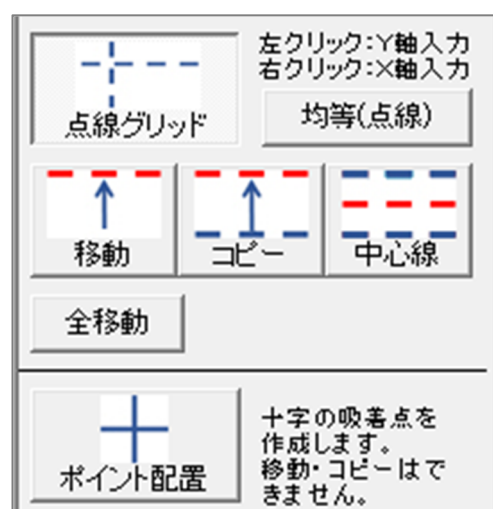
【設定】－基準点を設定します。基準点を中心に縦と横の基準線が表示されます。

【削除】－基準点を削除します。

【高さグリッド連動】－基準点から高さ方向の点線グリッドを一括配置できます。

【均等（吸着点）】－基準点から図面全体に均一の間隔で吸着点を設定します。

「均等グリッドを配置する」チェックを入れ、配置間隔を選択してください。



【点線グリッド】－任意の位置にグリッド線を配置します。

縦線⇒左クリック

横線⇒右クリック

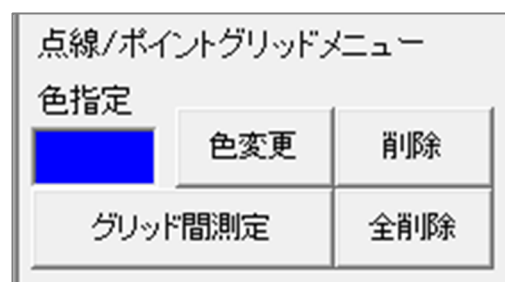
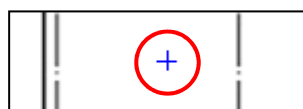
【均等（点線）】－点線グリッドを画面全体に均等間隔で配置します。方向間隔に各数字を選択入力し、色を決め入力してください。

【移動】【コピー】－点線グリッドを移動（コピー）させます。移動したいグリッド線をクリックで選択し、移動（コピー）させたい間隔と方向を指定してください。

【中心線】－2本のグリッドの中央に線を表示させます。

【全移動】－点線グリッドを全てまとめて移動させます。

【ポイント配置】－吸着点配置は左記の表示（+）になります。部材配置をする際、マウスを吸着させたい箇所に配置してください。但し吸着点の移動・コピーは出来ません。



【色指定】－点線グリッドの色を指定します。

【色変更】－入力済のグリッドの表示色を変更します。グリッドをクリックすると色指定した色に変わります。

【グリッド間測定】－点線グリッドと点線グリッドの距離を測定します。指定したグリッドは黄色で表示されます。

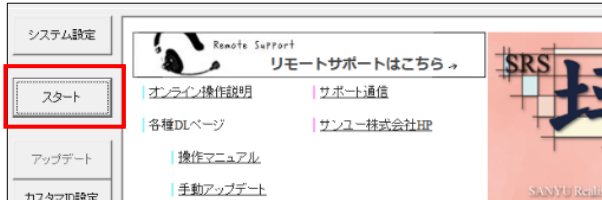
【削除】－選択した点線グリッド・ポイント配置を削除します。

【全削除】－図面上の点線グリッド・ポイント配置を全て削除します。

入力した物件をさがす・整理する

1 物件検索

物件設定画面で既存物件を選びますが、物件数が多いときは物件検索機能をご使用ください。



1) 坪拾いを起動して【スタート】を押します。



2) 【物件検索】を押します。



3) 編集する物件を選択（選択された物件はオレンジで表示されます）し、【物件選択】を押します。

【絞込操作】

作成者名、物件名

作成者名・物件名検索を行う場合、入力された文字が含まれているものを絞込結果として表示します。

作成日時・更新日時

日時検索左の年月日から右の年月日での間に入るものを絞込結果として表示します。

各選択条件で選択をした場合、必ず最後に

【絞込】を押し、検索をします。絞り込みを解除する場合は【クリア】を押します。

2 物件整理

物件名の変更・削除などが行えます。

坪拾いを起動し【物件整理】を押します。
物件の一覧が表示されます。



この項の操作は物件一覧から選択し、画面右上のメニューボタンをより、行う操作を選びます。

物件一覧

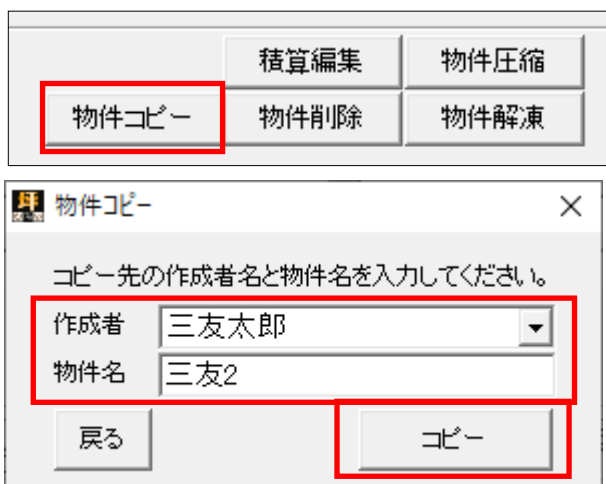
— 物件の名前を変更する —



名称変更したい「作成者」「物件名」の上でダブルクリックをし、変更します。
※一度積算結果まで出力している物件は積算結果画面で表示される物件名への反映ができません。
積算結果画面の【編集】-【得意先情報設定】で変更ください。

— 物件をコピーする —

素材のパターンなどで同じ物件形状でも拾い出しを複数行う場合にご活用ください。



- 1) コピーする物件を下の一覧から選択します。
- 2) 【物件コピー】を押します。
- 3) コピー後の物件名の設定画面になりますので、入力して【コピー】を押します。

—物件の削除—

作成者	物件名	外壁	屋根立面	屋根伏せ	作成日時	更新日時
三友太郎	三友太郎①	●	●	●	2012/11/22	2012/11/24
三友太郎	三友太郎②	●	●	●	2012/11/23	2012/11/25
三友太郎	三友太郎③	●	●	●	2012/11/21	-
三友花子	三友太郎④	●	●	●	2012/11/21	2012/11/25
三友花子	三友太郎⑤	●	●	●	2012/11/22	-

物件コピー

物件削除

物件解凍

積算編集

物件圧縮

作成者ごと削除

物件ごと削除

種別ごと削除

1) 削除したい物件を下の一覧から選択します。

2) 【物件削除】を押します。
必要に応じて以下 3 種類の削除ボタンを選択します。

<作成者ごと削除>

物件を選択し、【作成者ごと削除】を選択すると、**選択した作成者の物件を全て削除**することが出来ます。

<物件ごと削除>

物件を選択し、【物件ごと削除】を選択すると、**選択した物件の外壁・屋根立面・屋根伏せの全てを削除**することが出来ます。

<種別ごと削除>

物件を選択し、【種別ごと削除】を選択すると、**選択した外壁・屋根立面・屋根伏せを種別ごとに削除**することが出来ます。

※種別ごと削除する場合は、外壁・屋根立面・屋根伏せの項目●印を選択してください。

—物件を別のパソコンで開く—

物件圧縮で物件データをまとめ、物件データを移動できる状態にします。別のパソコンで「解凍」することでデータを移すことができます。

物件コピー

物件削除

物件解凍

積算編集

物件圧縮

物件解凍

<圧縮>

1) 移動する物件を一覧から選択します。

2) 右上【物件圧縮】を押します。

3) 『Tsubohiroi_press』というフォルダを、選択し、【OK】を押します。

4) 圧縮が開始され、「保存しました」と表示されるので、【OK】を押します。これで圧縮は終了です

5) Cドライブの『Tsubohiroi_press』フォルダに圧縮した物件が入っているため USB メモリなどにコピーして移動します。

<解凍>

移すパソコンの坪拾いを起動し、物件整理の【物件解凍】を押します。

解凍したい物件を選択し、【開く】を押してください。

物件コピー

物件削除

物件解凍

積算編集

物件圧縮

物件解凍

物件圧縮

圧縮先フォルダを指定して下さい

圧縮先フォルダ: C:\Tsubohiroi_press

OK

物件圧縮

保存しました

OK

解凍したいファイル(LZH形式)を選択して下さい

デスクトップの検索

ファイル名(N): 三友太郎_三友太郎(外壁).lzh

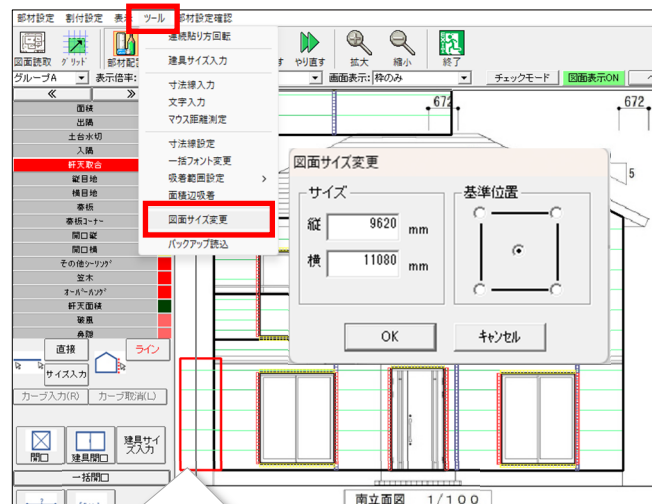
圧縮(*.lzh)

開く(O)

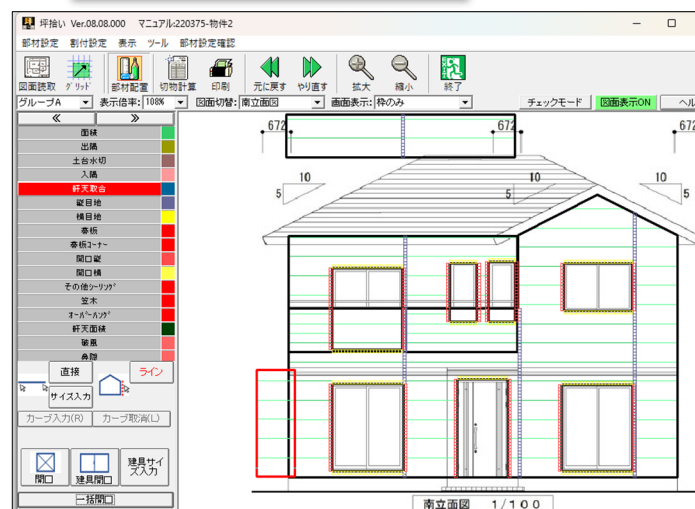
入力する範囲が足りない時

「面積を余白に移動したいが、余白が足りない」「屋根伏せが入力範囲を超えてしまう」など。図面サイズ変更で余白を広げることができます。

※範囲を狭めることはできません。



余白に動かしたいが、
スペースがない

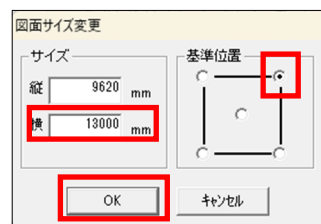


1) 【ツール】－【図面サイズ変更】を使用します。

図面サイズ変更画面には現在の作業スペースの縦幅と横幅が表示されます。

2) 拡張した後の縦幅・横幅を指定します。
今回は横幅を 2000mmほどプラスしたいので、横幅 13000mmを指定します。

右の基準位置は、どのように余白を広げるか指定ができます。
今回は左に余白をつけたいため、右上を基準にします。



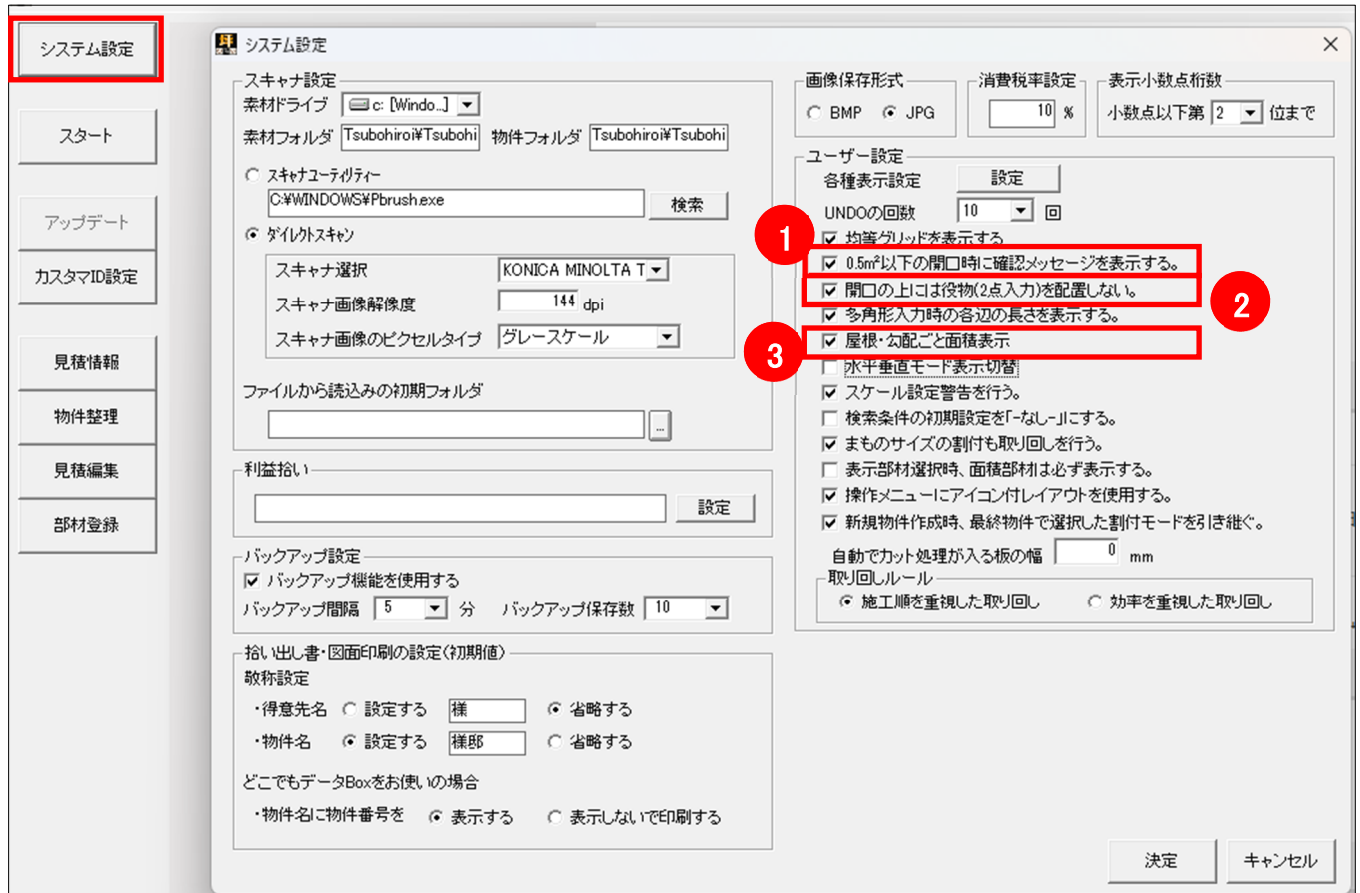
3) 【OK】を押します。
左側に 2000mmの余白が拡張されました。

Pickup! 屋根伏せを作るときの図面サイズ

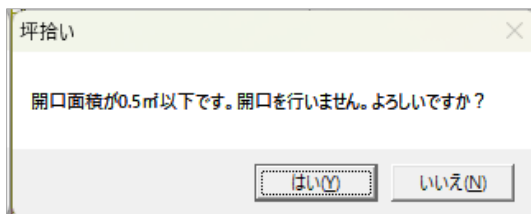
屋根伏せなどで使用する『寸法入力による物件の作成』では 20000mm×20000mmが設定されています。もし範囲が足りない場合は外壁最大の幅に+5000mmした数値の幅がお勧めです。

システム設定のオススメ初期設定

タイトルのシステム設定から設定できるオススメ機能をご紹介します。



①小さすぎる（0.5 ㎡以下）の開口警告を表示する



小さな開口は「周囲のシーリングは拾いたいが、見積もりの面積から減算したくない」という場合ため、警告メッセージを表示し、面積から減算しないという選択肢を出せるようになっています。

「どんなに小さな開口でも常に開口したい」という場合はチェックを外すことでメッセージを表示しないようにできます。

②開口をよけて役物を設置する



土台水切りなどの役物を設置するとき、開口をよけて設置ができます。

③積算結果表に勾配別の面積を表示する

	品名	計測	実数	単位	ロス率
1	屋根伏 0001.dat				
2	グループA				
3	屋根面積 4寸		61.05	㎡	
4	屋根面積 5寸		55.04	㎡	
5	屋根面積	116.09		㎡	

屋根の集計時、積算結果の面積の表示が変わります。チェックが OFF の場合は勾配の合計行だけ、チェックが ON の場合は勾配ごとの面積と、合計行が表示されます。

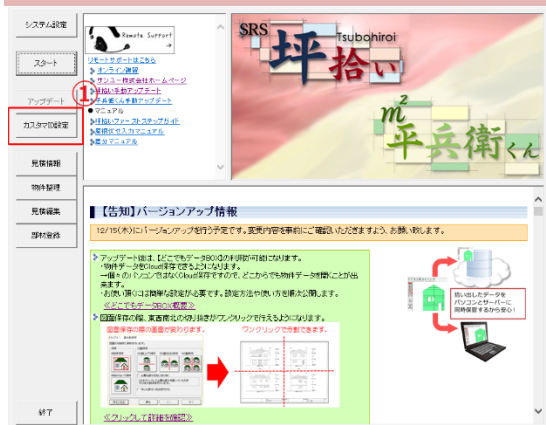
バックアップ機能 どこでもデータ BOX を使用する

どこでもデータ BOX とは

データを自動でクラウド保存する機能です。パソコントラブルの備えや、複数 PC でのデータの共有にお使いいただけます。物件を終了するたびに物件をサーバーへアップロードいたします。

新しいパソコンへの移行したときは必要な物件だけ BOX から呼び出すことができます。

データ BOX 機能を ON にする



1) タイトル画面【カスタマ ID 設定】ボタンをクリック。

2) カスタマ ID を入力ください。

3) 『どこでもデータ BOX を使用する』にチェックください。

4) パスワードを入力してください。パスワードの初期値はソフトウェア納品時の『お客様登録確認書』に記載しています。パスワードをお忘れの場合は、パスワード初期化のご依頼をサポートセンターまでご連絡ください。

5) 【OK】ボタンを押します。
はじめて機能を ON にするパソコンでは利用規約画面が表示されます。画面下部の『どこでもデータ BOX の利用規約に同意する。』チェックを入れて【OK】ボタンを押してください。

データをアップロードする

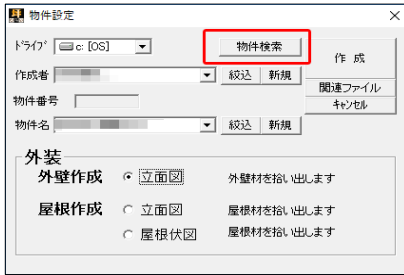
アップロードに特別な手順はありません。

物件を作成し、物件の入力画面を開き、【終了】で閉じたタイミングでアップロードされます。



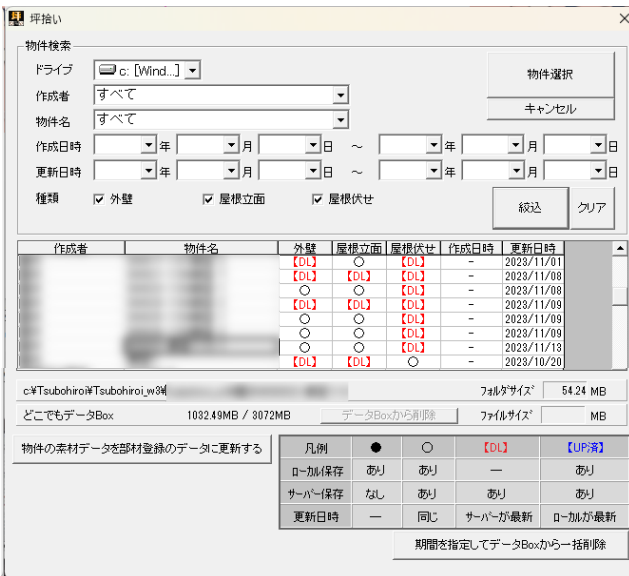
※図面保存だけをした状態で、【閉じる】で終了してしまうとアップロードされません。必ず入力画面まで入るようにしてください。

他の PC で作成したデータをダウンロードする方法



1) 【スタート】 ボタンを押します。

2) 【物件検索】 ボタンを押します。



別のパソコンで作成されたデータを含む物件の一覧が表示されます。

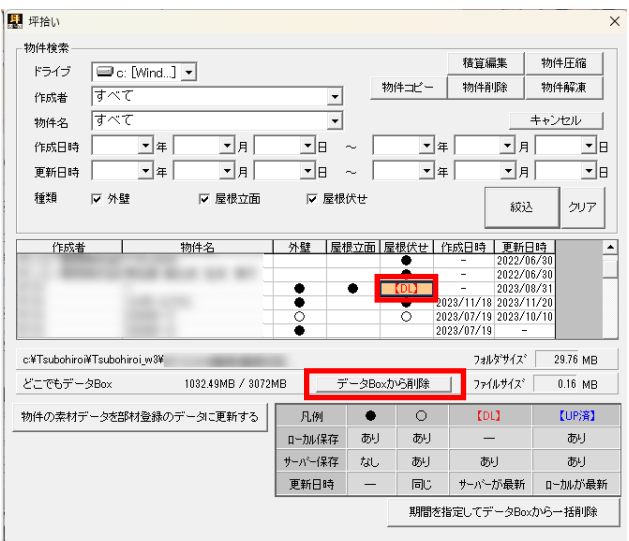
○・・・自分のパソコンで作成したデータ
【DL】・・・他のパソコンで作成したデータがあることを意味しています。

目的の物件をクリックで選択し、【物件選択】ボタンを押します。

3) 物件設定画面に戻ると、選択した物件情報が入っていますので、【作成】ボタンで進んでください。

呼び出しできるのはどこでもデータ BOX の利用設定をした後に拾い出し（アップロード）をした物件データのみになります。

データ BOX から物件データを削除する



物件整理画面でパソコン内のデータとサーバー上のデータを削除できるようになっています。

サーバーのデータを削除する場合は削除するデータの○又は【DL】・【UP 済】をクリックで選択し、画面下部の【データ BOX から削除】ボタンを押して削除してください。

【データ BOX から削除】ボタンが押せない状態の場合はサーバー上に該当するデータがないことを意味します。

データ BOX を使うときの注意事項

- ・ご利用になるには保証サービスのご加入が必須です。
- ・保管は 1GB まで無償です。10GB まで月額 1000 円（税別）でご契約いただけます。
- ・ご利用になるにはインターネット環境及び.NETFrameWork4.5 が必要です。
- ・物件をアップロードするごとに物件専用の部材データを保持します。このため、物件作成後にタイトルの部材登録を行っても、既存物件への部材データの反映はできません。【物件設定】 - 【物件部材登録】より物件だけの部材登録設定を行うことができます。
- ・複数のパソコンで同時に同じ物件を開くことはできません。

部材の登録

出力される部材は自由に変更ができます。部材の組み合わせや新たな材料を追加したい場合は、部材登録から行います。

部材登録



1) タイトルから【部材登録】を押し、【外壁】または【屋根】を選択します。本マニュアルでは外壁を例にしています。



2) 組み合わせを変更したい検索条件の横にある【編集】を押します。

3分割された画面のうち、右下が材料一覧表になります。

詳細部材登録 (強い出し項目名称: 面張)

主部材一覧

副部材一覧

※赤色の列は編集できません

部材名	単位	計算根拠	数量	計算式	寄え	ロス率	単価	出率	見積単価
1 産業サイディング(横張り)	枚	枚(部材枚数)	1	1	1.00000	1.00	1	1.0000	1
2 防水シート	巻	面積(外壁)	1	1/40	0.02500	1.00	1	1.0000	1
3 釘	本	枚(部材枚数)	1	121	21.00000	1.00	1	1.0000	1
4 銅線	m	銅線(m)	1	1	1.00000	1.00	1	1.0000	1

並び替え 切

部材の登録 部材の解除 グループ化 グループ解除

部材一覧

絞込項目 [すべて表示] 絞込項目追加 絞込項目削除 文字検索 検索

絞込項目	部材名	単位	計算根拠	数量	計算式	ロス率	単価	出率	見積単価
1	付帯部材	本	長さ	1	1	1.00	1	1.0000	1
2	個数	個	個数	1	1	1.00	1	1.0000	1
3	個数	個	個数	1	1	1.00	1	1.0000	1
4	個数	個	個数	1	1	1.00	1	1.0000	1
5	個数	個	個数	1	1	1.00	1	1.0000	1
6	シリング	m	長さ	1	1	1.00	1	1.0000	1
7	付帯部材	m	長さ	1	1	1.00	1	1.0000	1
8	付帯部材	箱	長さ	1	1	1.00	1	1.0000	1
9	金具・釘	本	枚(部材枚数)	1	14	1.00	1	1.0000	1
10	金具・釘	本	枚(部材枚数)	1	7	1.00	1	1.0000	1
11	付帯部材	本	長さ	1	1/0.455	1.00	1	1.0000	1
12	付帯部材	m	長さ	1	1	1.00	1	1.0000	1
13	金具・釘	個	枚(部材枚数)	1	7	1.00	1	1.0000	1
14	金具・釘	個	枚(部材枚数)	1	7	1.00	1	1.0000	1
15	本体	枚	枚(部材枚数)	1	1	1.00	1	1.0000	1

部材の登録 部材の解除 グループ化 グループ解除

部材の追加 部材のコピー 部材の削除

反映する キャンセル

3) 右下の表の【部材一覧】から必要な部材を選びます。

4) 【部材の登録】を押します。

副部材一覧

※赤色の列は編集できません

部材名	単位	計算根拠	数量	計算式	寄え	ロス率	単価	出率	見積単価
1 産業サイディング(横張り)	枚	枚(部材枚数)	1	1	1.00000	1.00	1	1.0000	1
2 防水シート	巻	面積(外壁)	1	1/40	0.02500	1.00	1	1.0000	1
3 釘	本	枚(部材枚数)	1	121	21.00000	1.00	1	1.0000	1
4 銅線	m	銅線(m)	1	1	1.00000	1.00	1	1.0000	1

並び替え 切

部材の登録 部材の解除 グループ化 グループ解除

部材一覧

絞込項目 [すべて表示] 絞込項目追加 絞込項目削除 文字検索 検索

絞込項目	部材名	単位	計算根拠	数量	計算式	ロス率	単価	出率	見積単価
1	付帯部材	本	長さ	1	1	1.00	1	1.0000	1
2	個数	個	個数	1	1	1.00	1	1.0000	1
3	個数	個	個数	1	1	1.00	1	1.0000	1
4	個数	個	個数	1	1	1.00	1	1.0000	1
5	個数	個	個数	1	1	1.00	1	1.0000	1
6	シリング	m	長さ	1	1	1.00	1	1.0000	1
7	付帯部材	m	長さ	1	1	1.00	1	1.0000	1
8	付帯部材	箱	長さ	1	1	1.00	1	1.0000	1
9	金具・釘	本	枚(部材枚数)	1	14	1.00	1	1.0000	1
10	金具・釘	本	枚(部材枚数)	1	7	1.00	1	1.0000	1
11	付帯部材	本	長さ	1	1/0.455	1.00	1	1.0000	1
12	付帯部材	m	長さ	1	1	1.00	1	1.0000	1
13	金具・釘	個	枚(部材枚数)	1	7	1.00	1	1.0000	1
14	金具・釘	個	枚(部材枚数)	1	7	1.00	1	1.0000	1
15	本体	枚	枚(部材枚数)	1	1	1.00	1	1.0000	1

部材の登録 部材の解除 グループ化 グループ解除

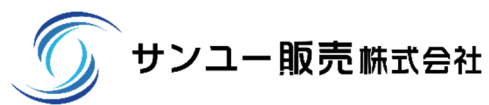
部材の追加 部材のコピー 部材の削除

反映する キャンセル

5) 副部材一覧に追加されたことを確認し、【反映する】を押します。これで部材の登録は完了です。

※必要のない材料は右上の画面で選択し、【部材の解除】を押すと解除されます。

※このほか、より詳細な部材の設定は、部材登録マニュアルを参照してください。



作 成 者	サンユー販売株式会社
最終更新日	2023 年 12 月 7 日

<https://www.sanyu-hanbai.com/>

サポートセンターフリーダイヤル：0120-840-822

9:00~12:00・13:00~17:30（指定土曜・日曜・祝日を除く）

カスタマ ID	
---------	--